教 育 要 覧

— 平成 29 年度—

竹原市教育委員会

目 次

| I | 竹原市の概要 | • • | • • • | • | • | • • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | | 1 |
|------|----------|------|-------|----|----|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| II | 平成29年度竹原 | 「市教育 | 育行政 | えの | 目机 | 票 | • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | | 2 |
| Ш | 教育長及び教育委 | 員の村 | 構成 | • | • | | • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | | 3 |
| IV | 教育委員会事務局 | の構成 | 戈・事 | 務 | 分雪 | 掌 | • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | | 3 |
| V | 教育費科目別当初 |]予算の | つ推移 | Ż | • | | • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | | 6 |
| VI | 竹原市立小学校· | 中学校 | 交の現 | 況 | | | • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | | 7 |
| VII | 竹原市立幼稚園の | 現況 | | • | • | • • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | | 2 | 1 |
| VIII | 生涯学習の現況 | • • | | • | • | • • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | | 2 | 3 |
| IX | 図書館・・・・ | • • | | • | • | • • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | | 2 | 6 |
| X | たけはら美術館 | • • | | • | • | | • | • | • | • | • | • | • | • | • | | 2 | 9 |
| XI | 平成29年度竹原 | 「市教育 | 育委員 | 会 | のヨ | 主要 | な | 事 | 業 | | | | • | • | • | | 3 | 1 |

I 竹原市の概要

1 地勢

面積118.23k㎡(東西21.2km・南北14.7km) 竹原市は、広島県沿岸部のほぼ中央に位置し、東・北・西を山で囲まれているが、南部は広く瀬戸内海に面している。市の中央を流れる賀茂川の流域と沿岸部に平野が広がっておりその周辺に人口が集中して市街地を形成して居る。また、年間平均気温15.9度、年間降水量1,544.0mmと温暖な気候にも恵まれ、南部地域では、ぶどう・じゃがいも・みかん等の農作物の栽培が盛んで、市の特産物となっている。



市章

City Insignia 竹を題材とし、竹の輪は市 民の和を表し、三方に広がる 笹は平和で豊かな繁栄を象徴 ナス

昭和38(1963)年課定

(面積 平成29年1月1日現在, 気温·降水量 平成28年1~12月分)

2 歴 史

市北部には壮大な古墳群があり、縄文時代の遺跡や古墳時代の横穴式石室が発見されており、今から約3,000年前の昔から人々の生活が営まれていたと推定される。

大化の改新(645年)後、古代山陽道が整備されて都宇駅が置かれ、古くから交通の要所であった。平安時代には京都下鴨神社の荘園となり、竹原荘と呼ばれた(1090年)。鎌倉時代には竹原小早川家が創設され(1258年)、小早川家の隆盛と共に竹原は発展した。江戸時代に入浜式塩田が開かれ(1650年)、竹原は急速に発展し、瀬戸内海屈指の製塩地として繁栄した。この豊かな経済基盤に支えられ儒学等が栄え、賴家一門を始めとする多くの文人、学者が生まれた。

明治時代に入ると、古くから商港として栄えた忠海に、豊田郡役所(1878年)や税務署(1896年)等が置かれ、豊田郡の中心地として大いに栄えた。昭和10年の呉線全線開通と、同12年の昭和鉱業(現三井金属鉱業)操業により近代的都市へと躍進した。

竹原町は、昭和27年から同31年までに下野村・東野村・大乗村・南方村の小梨地区、 そして荘野村・田万里村及び吉名村と賀永村の仁賀地区を編入し、昭和33年に忠海町と 合併して市制を施行し、現在に至っている。

3 人口・世帯数の推移 (平成29年4月30日現在)

(1) 人 口 26,514人

男 12,638人 女 13,876人

(2) 世帯数 12,599世帯



Ⅱ 平成29年度竹原市教育行政の目標

竹原市は、多様化する市民ニーズや地域の課題などに的確に対応し、総合的かつ計画的にまちづくりを推進していくため、平成21年3月「第5次竹原市総合計画」を策定した。この計画では、これまでの取組を踏まえ、めざす将来像を『住みよさ実感 瀬戸内交流文化都市 たけはら』と定め、本市の持つ自然環境や歴史文化、コミュニティなど持てるもの、いわゆる底力を発揮し、多彩な交流・ふれあい、さらなる歴史文化を育み、活きいきとした暮らしやまちの活力・魅力を継承・発展させ、訪れたい、住んでみたい、住み続けたい、そして住んでよかったと思えるまちづくりを目指している。

教育施策の基軸を『子どもが夢をもち人が輝くまちづくりへの挑戦』と定め、安心と自信をもち子育てができるまち、子どもの夢を応援するまち、知徳体のバランスのとれた子どもの育成ができるまち、そしてすべての人がさまざまな特性や違いを超えてお互いを尊重し、それぞれの能力を発揮できるまちづくりを目指している。市民一人ひとりが、生きがいのある豊かな市民生活を送ることができるために、教育行政の果たす役割は非常に重要である。

平成26年度からの後期基本計画及び平成27年11月に策定した「竹原市教育大綱」では、これまでの取組を継承するとともに、特に力を入れて進めていく施策として「将来地域で活躍できる人材を育成する教育環境の確保・充実」・「新たな生涯学習の仕組みづくり」・「町並み保存地区の更なる活用・魅力づくり」を「チャレンジプロジェクト」に位置づけ、安心と自信をもち子育てができる環境の充実、次代を担う子どもの育成、生涯にわたり地域で活きいきと活躍できる生涯学習の推進、文化財の更なる活用、魅力づくりの具体化を図る。

教育行政の目標

- 1 「夢をもち、子どもが輝く教育の実現ー未来を拓く新たな教育への挑戦ー」を目指し、「就学前教育の推進」「確かな学力の向上」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」「信頼される学校づくり」「充実した教育環境づくり」を基本方針とした、「基礎学力の定着・向上」「ICT活用教育」「生徒指導」「小中一貫教育」の推進
- 2 新しい生涯学習の推進を目指して、「生涯学習推進の仕組みづくり」「多彩な生涯学習 機会の確保・充実」「生涯学習関連施設の整備・充実と有効活用」の推進
- 3 だれもがスポーツ・レクリエーションに親しむことを目指して、「スポーツ・レクリエーション活動の充実」「スポーツ指導体制の確立」「スポーツ・レクリエーションの場の整備・充実と有効活用」の推進
- 4 竹原の歴史文化や町並みが守られ、活かされることを目指して、「歴史文化を守り、伝え、はぐくむ人づくり」「文化財及び歴史資料の保存・活用の仕組みづくり」「町並みの保存・活用・魅力づくり」の推進
- 5 青少年が家庭や地域のあたたかさを感じながら成長することを目指して、「青少年の健 全育成」「青少年がいきいきと活動できる環境づくり」の推進

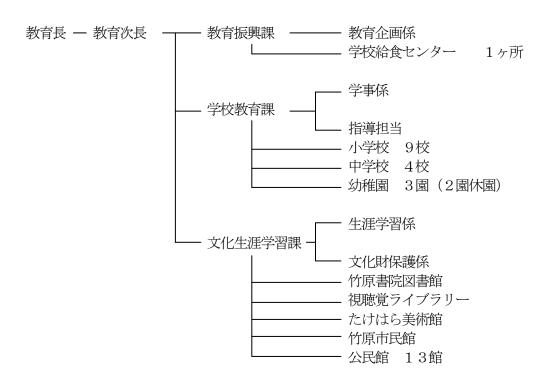
Ⅲ教育長及び教育委員の構成

(平成29年5月1日現在)

| 役職名氏名最初の就任年月日 任期満了年月日教育長竹下 昌憲平成28年 6月21日 平成31年 6月20日教育長職務代理者梅田 一樂平成19年 2月 1日 平成31年 1月31日委員河埜内 鈴子平成19年 2月 1日 平成31年 1月31日委員浅野平成25年 2月 1日 平成33年 1月31日本見本見本別3年 1月31日本見本別3年 1月31日平成29年 2月21日 | | | | |
|---|--------------------------|-------------------|-------------|--|
| 教育長 竹下 昌憲 平成28年 6月21日 教育長職務代理者 梅田 平成31年 6月20日 本成19年 2月 1日 平成31年 1月31日 平成19年 2月 1日 平成19年 2月 1日 平成31年 1月31日 平成31年 1月31日 平成35年 2月 1日 平成25年 2月 1日 平成33年 1月31日 平成33年 1月31日 平成29年 2月21日 | 公D. 11分 方 | rr. Б | 最初の就任年月日 | |
| 教育長 竹下 昌憲 平成31年 6月20日 教育長職務代理者 梅田 一樂 平成19年 2月 1日 李員 河埜内 鈴子 平成19年 2月 1日 平成31年 1月31日 平成31年 1月31日 平成25年 2月 1日 平成33年 1月31日 平成39年 2月21日 平成29年 2月21日 | 位 城 名 | 八 名 | 任期満了年月日 | |
| 教育長職務代理者 梅田 一樂 平成19年 2月 1日 李員 河埜内 鈴子 平成19年 2月 1日 平成31年 1月31日 平成31年 1月31日 平成31年 2月 1日 平成31年 1月31日 平成25年 2月 1日 平成33年 1月31日 平成39年 2月21日 平成29年 2月21日 | ₩ ≠ E | <i>比</i> | 平成28年 6月21日 | |
| 教育長職務代理者 梅田 一榮 平成31年 1月31日 委員 河埜内 鈴子 平成19年 2月 1日 平成31年 1月31日 平成25年 2月 1日 平成33年 1月31日 平成33年 1月31日 平成29年 2月21日 | 教育女 | 们 | 平成31年 6月20日 | |
| 季員 河埜内 鈴子 平成31年 1月31日 平成19年 2月 1日 平成31年 1月31日 平成31年 1月31日 平成31年 1月31日 平成25年 2月 1日 平成33年 1月31日 平成39年 2月21日 | 松本目呦欢小四米 | +k | 平成19年 2月 1日 | |
| 委員 河埜内 鈴子 平成31年 1月31日 委員 港成25年 2月 1日 平成33年 1月31日 平成33年 1月31日 平成29年 2月21日 | 教育長職務代埋者 | 伸 田 一 栄 | 平成31年 1月31日 | |
| 李員 浅野 歌成31年 1月31日 平成25年 2月 1日 平成33年 1月31日 平成33年 1月31日 平成29年 2月21日 | 4 D | 海林市 松之 | 平成19年 2月 1日 | |
| 委員 浅野 稔 平成33年 1月31日 平成29年 2月21日 | 安 貝 | 何 | 平成31年 1月31日 | |
| 平成33年 1月31日 平成29年 2月21日 | 早 | Δ Σ ΕΗ 4Υ. | 平成25年 2月 1日 | |
| 平成29年 2月21日 | 安 貝 | 浅 野 | 平成33年 1月31日 | |
| | 委員 | 市川義隆 | 平成29年 2月21日 | |
| 安 貝 T 川 莪 隆 平成30年 1月30日 | | | 平成30年 1月30日 | |
| 平成28年 6月21日 | * = | H 11 # | 平成28年 6月21日 | |
| 安 貝 中 秋 央 一 平成32年 6月20日 | 委 員 | 中秋英一 | 平成32年 6月20日 | |

Ⅳ 教育委員会事務局の構成・事務分掌

- 1 教育委員会の機構
- (1) 所在地 竹原市中央五丁目1番35号
- (2) 事務局・学校その他の教育機関



2 竹原市教育委員会事務局事務分掌

教育振興課

教育企画係

- (1) 教育委員会の会議に関すること。
- (2) 教育行政の企画及び総合調整に関すること。
- (3) 教育委員会の権限に属する事務の補助執行に係る連絡調整に関すること。
- (4) 教育委員会及び学校その他の教育機関の市費負担職員の任免給与の人事に関すること。
- (5) 公印の管守に関すること。
- (6) 公文書の受付、発送及び整理に関すること。
- (7) 教育委員会に係る歳入歳出予算に関すること。
- (8) 調査統計に関すること。(他課に属さないもの)
- (9) 教育財産の取得及び処分に関すること。
- (10) 教育委員会規則等の制定又は改廃に関すること。
- (11) 請願, 陳情等に関すること。
- (12) 叙勲申請等に関すること。
- (13) 学校給食に関すること。
- (14) 学校,幼稚園施設に関すること。
- (15) 奨学金に関すること。
- (16) 教育行政相談に関すること。
- (17) 教育委員会その他教育機関の建設及び維持管理に関すること。
- (18) 教育委員会各課の連絡調整に関すること。
- (19) 総合教育会議の連絡調整に関すること。
- (20) その他、課の庶務に関すること。
- (21) その他、他の課の所掌に属しない事項に関すること。

学校教育課

学事係

- (1) 通学区域に関すること。
- (2) 児童、生徒及び幼児の就学に関すること。
- (3) 教職員並びに児童生徒及び幼児の保健,安全,厚生,福祉及び環境衛生に関すること。
- (4) 教具その他備品に関すること。
- (5) 就学援助,就学奨励に関すること。
- (6) 幼稚園保育料に関すること。
- (7) その他、学校教育に関すること。
- (8) その他, 課の庶務に関すること。

指導担当

- (1) 校長,教職員等県費負担職員の任免,給与その他人事に関すること。
- (2) 学級編制に関すること。
- (3) 学校教育の調査統計に関すること。
- (4) 学校図書館に関すること。
- (5) 学校関係諸機関との連絡に関すること。
- (6) 教育課程に関すること。
- (7) 教育内容に関すること。
- (8) 学習指導に関すること。
- (9) 生徒指導に関すること。
- (10) 教職員の研修に関すること。
- (11) 教科書の採択に関すること。
- (12) 教育相談室に関すること。

文化生涯学習課

生涯学習係

- (1) 社会教育委員及び社会教育関係委員に関すること。
- (2) 生涯学習の推進に関すること。
- (3) スポーツ推進審議会委員に関すること。
- (4) スポーツ推進委員に関すること。
- (5) 体育の振興に関すること。
- (6) 体育関係施設に関すること。
- (7) 芸術文化に関すること。
- (8) たけはら美術館の管理運営に関すること。
- (9) 竹原市民館の管理運営に関すること。
- (10) 公民館の管理運営に関すること。
- (11) 教育集会所の管理運営に関すること。
- (12) 市立竹原書院図書館に関すること。
- (13) 竹原市視聴覚ライブラリーに関すること。
- (14) その他生涯学習に関すること。
- (15) 課内庶務に関すること。

文化財保護係

- (1) 文化財及び関係施設に関すること。
- (2) 市史に関すること。
- (3) 歴史的風致維持向上計画(文化・文化財部門)に関すること。
- (4) 町並み保存センターに関すること。
- (5) 歴史民俗資料館に関すること。

V 教育費科目別当初予算の推移

(単位:千円)

| | | | | | | <u>(単位:十円)</u> |
|---|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|----------------|
| 科 | 目 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
| 教 | 育 費 | 1, 266, 639 | 2, 118, 237 | 1, 801, 591 | 1, 228, 265 | 1, 258, 672 |
| 教 | 育総務費 | 183, 787 | 1, 400, 803 | 847, 653 | 477, 772 | 573, 853 |
| | 教育委員会費 | 2, 953 | 3, 076 | 3, 023 | 2, 921 | 2, 920 |
| | 事務局費 | 131, 867 | 132, 352 | 125, 626 | 121, 692 | 123, 874 |
| | 教育指導費 | 45, 238 | 61, 435 | 61, 259 | 71, 562 | 72, 354 |
| | 就学奨励費 | 3, 729 | 4, 099 | 1, 436 | 1, 212 | 722 |
| | 小中一貫校整備費 | 0 | 1, 199, 841 | 656, 309 | 280, 385 | 373, 983 |
| 小 | 学 校 費 | 564, 541 | 188, 092 | 288, 884 | 188, 428 | 193, 541 |
| | 学校管理費 | 533, 122 | 157, 411 | 255, 308 | 161, 099 | 166, 257 |
| | 教育振興費 | 31, 419 | 30, 681 | 33, 576 | 27, 329 | 27, 284 |
| 中 | 学校費 | 113, 438 | 113, 753 | 244, 343 | 135, 807 | 95, 488 |
| | 学校管理費 | 87, 335 | 87, 140 | 221, 125 | 113, 316 | 75, 761 |
| | 教育振興費 | 26, 103 | 26, 613 | 23, 218 | 22, 491 | 19, 727 |
| 幼 | 稚園費 | 60, 083 | 56, 763 | 36, 160 | 36, 657 | 39, 477 |
| | 幼稚園費 | 48, 546 | 42, 982 | 35, 967 | 36, 594 | 39, 477 |
| | 教育振興費 | 11, 537 | 13, 781 | 193 | 63 | 0 |
| 社 | 会教育費 | 254, 842 | 268, 077 | 283, 773 | 286, 869 | 249, 143 |
| | 社会教育総務費 | 32, 895 | 41, 789 | 45, 266 | 46, 575 | 41, 448 |
| | 公民館費 | 75, 103 | 71, 526 | 75, 532 | 78, 063 | 73, 938 |
| | 図書館費 | 61, 008 | 60, 578 | 60, 472 | 59, 969 | 58, 442 |
| | 青少年指導費 | 4, 517 | 4, 476 | 4, 455 | 4, 460 | 4, 399 |
| | 文化財保護費 | 38, 718 | 39, 373 | 51, 552 | 46, 997 | 31, 661 |
| | 美術館費 | 40, 395 | 36, 608 | 44, 820 | 38, 550 | 37, 647 |
| | 文化振興費 | 2, 206 | 13, 727 | 1,676 | 12, 255 | 1, 608 |
| 保 | 健体育費 | 89, 948 | 90, 749 | 100, 778 | 102, 732 | 107, 170 |
| | 保健体育総務費 | 8, 481 | 8, 729 | 8, 538 | 8, 959 | 8, 835 |
| | 体育施設費 | 4, 067 | 2, 858 | 3, 306 | 3, 011 | 2, 683 |
| | 学校給食費 | 77, 400 | 79, 162 | 88, 934 | 90, 762 | 95, 652 |
| | | | | | | |

竹原市立小学校・中学校の現況 K



竹原市学校教育ビジョン 平成29年度

基

犂 子 H

Ш 严 40

胀 摇 恕 体 畖

就学前教育

の推進

00

保幼小連携のの推進 中 生活や学習の基盤の育成

確かな学力 の向上

夢をも

な、

- アクション・プランの促進 広島版「学びの変革 0
- 特別支援教育の推進 ICT活用教育の推進 000
- 読書活動の推進
- **中**
- 異文化間協働活動を通したコミュニケーション能力の育成 課題発見・解決学習を通した資質・能力の育成

幼児一人一人の発達段階に応じた適切な教育の実施

円滑な接続を目指した接続カリキュラムの策定と実施

遊びを通した総合的な指導の充実

000

- 学力調査等の結果を生かした日常的な授業改善 000000
 - 効果的なICT活用授業の充実
- 個の実態に応じたよりきめ細かい支援の充実
- 読書意欲の向上及び学校図書館の積極的な活用
- 000

中核

生徒指導の推進 道徳教育の推進

00

豊かな心

の育成

Ľ

中

- 関係機関との連携強化 組織的な生徒指導体制の確立 道徳的判断力,心情,実践意欲や態度を養う道徳の時間の カリキュラムの改善

未来を拓く新たな教育への挑戦

体カテストの実施・分析を通した体育指導の工夫改善 早寝, 早起き, 朝ごはんの定着 組織的な学校給食指導 000

日林

体力つくりの推進 食育の推進 健康教育の推進

000

健やかな体

蟶

数

加

かべ

の育成

- 竹原市の子どもを愛する活力ある教職員の育成
- 人事評価制度を踏まえた. 計画的・組織的・継続的な人材育成 不祥事防止委員会の機能化と服務規律の確保 0000
 - いじめ、体罰アンケート等を活用した防止機能の強化

信頼される 学校グヘリ 充実した

黑

教職員の資質向上 [14] 安全・安心な学校・地域

00

中核 小中一貫教育の推進 | 0

育環境づくり

数

9年間を見通した指導の徹底(学力・生徒指導・体力) 0

忠海小学校

| 郵 | 便番 | 号 | | 729-2317 | |
|---|----|---|-----------|--------------|-----------|
| 所 | 在 | 地 | 竹原市忠治 | 毎東町三丁目 | 9番1号 |
| 校 | | 長 | | 北村 洋子 | |
| 学 | 級 | 数 | 7 | 児童数 | 147 |
| 電 | | 話 | 08 | 846-26-0205 | |
| E | メー | ル | tadanoumi | -e@hiroshima | a-c.ed.ip |

■校訓■ 一広く やさしく 元気よく一

■教育目標■

夢や希望の実現に向けて、主体的に学び、行動する児童生徒の育成

■めざす子ども像■

【知】 ○自ら学び、考え、行動できる児童生徒

【徳】 ○自らを律し、他を思いやることができる児童生徒

【体】 ○心身ともに健康で頑張りぬく児童生徒

■学区の概要■

忠海は竹原市の東に位置し、往時は商業で栄えた港町 である。背後には緑豊かな黒滝山をはじめとする山々が 連なり、前には大久野島の浮かぶ瀬戸の海が広がる風光 明媚なところである。

海岸線に沿って瀬戸内さざなみ線、国道185号線が 走り, 近くには宮床海岸がある。



■研究主題■

アイデンティティを育て,自己の可能性を伸ばす道徳教育の創造 ~対話から,道徳的判断力の育成を目指した授業づくりを通して~

■特色ある教育活動■

施設一体型小中一貫校の特徴を生かし、小学生と中学生が日常的に交流 できる時間と場所を確保する。9年間を見通したカリキュラムを作成し、ICT機 器を活用しながら、わかる・できる授業を創造する。

【確かな学力】

- 評価シートの活用による 授業研究
- ・家庭学習の定着

【豊かな心】

- ·GT,地域資源等の活用,地域 連携授業
- ・自発的、自治的な児童会、生 徒会活動の充実

【健やかな体】

- ・体力調査と「体力つくり ファイル」の活用
- ・よい姿勢の定着
- ・残菜ゼロの取組

【信頼される学校】

- ・小中合同行事の充実
- 教育活動の積極的な公開 (授業. 懇談会, 学校行事)

大乗小学校

| 郵便番号 | 729-2313 | |
|-------|------------------------|------|
| 所 在 地 | 竹原市高崎町185番地 | 17 |
| 校 長 | 山田 具海 | |
| 学級数 | 7 児童数 8 | 31 |
| 電 話 | 0846-24-1155 | |
| Eメール | oonori-e@hiroshima-c.e | d.jp |

- ■校 訓■ 一正しく 強く 仲よく一
- ■教育目標■

夢に向かって『主体的・協働的』に伸び合う ~気づき、考え、つながり、輝く~

■めざす子ども像■

力を合わせ きらり輝け 大乗っ子

■めざす学校像■



《笑》顔であいさつ 《楽》しく学習・体験・つながる しっかり《考》える

■学区の概要■

校区は、市南東部、風光明媚な瀬戸内の波に沿うように広がっ ている。また,バンブージョイハイランドや栽培漁業センターなど 自然の恵みを生かした施設があり、教育活動に利用している。さ らに「福田の獅子舞」をはじめとする文化・伝統に育まれた地域であり、学校教育への関心も高く、書道・太鼓・絵画・郷土史な どに造詣が深い方々にゲストティーチャーとして協力を得ている。





■研究主題■

数量関係及び文章題の意味理解を深める指導の工夫

~インタラクション(相互作用)とリフレクション(振り返り)を重視した算数科授業を通して~

■特色ある教育活動■

ありたい自分の姿 自律 自分の伸びを実感する

自己決定し協働できる 主体的に取り組む 豊かな心(徳)

挑戦

学習スタンダードの徹底 ①授業改善

確かな学力(知)

- ・主体的・対話的で深い 学(★学習三則·ICT·対 話)
- ・「論点(話題)」を明確に した授業づくり
- 学習規律の徹底
- ★学習三則の徹底 ②学力向上
- ・学びの日常化(家庭学 習)

生活スタンダードの徹底 ①規節意識の育成

- 生徒指導規程の徹底
- ★生活三訓の徹底 ②他者を思いやる心

の醸成 ・『あいさつ 『運動

- ・温かい言葉遣いの徹底
- ・心を耕す体験活動・本物 体験
- ・考え議論する道徳
- ・ 縦割り班活動の活発化

健やかな体(体) 体つくりスタンダード

の徹底 ①体力の向 F

・日常的な体力づくり 運動環境の整備

②基本的生活習慣 の定着

- ・規則正しい生活リズ ムの定着(生活チャレ ンジ) 早寝・早起き・ 朝ご飯
- 食育の推進 ・眠育の推進

竹原小学校

| 郵便番号 | 725-0023 |
|-------|------------------------------|
| 所 在 地 | 竹原市田ノ浦二丁目5番1号 |
| 校 長 | 德森 友希男 |
| 学級数 | 11 児童数 222 |
| 電 話 | 0846-22-2105 |
| Eメール | takehara-e@hiroshima-c.ed.jp |

教育目標

夢や希望をもち、主体的に学ぶ子どもの育成

対話し向上する子

継続しやり遂げる子

判断し行動 する子

ライセンス に挑戦する ヱ

■学区の概要■

- ○本校の校区は、小京都「たけはら」と呼ばれる竹原 市街のほぼ中央に位置し、往時は塩田で栄えた古く からの町である。背後には緑豊かな山々が連なり、 前には瀬戸の海が広がる風光明媚な所である。
- ○校区には、江戸時代の町並みが残る「町並み保存地 区」があり、周辺は主に商店街と住宅街である。



■研究主題■

主体的に学び、自分の考えを表現できる児童の育成

■特色ある教育活動■

《確かな学力》

- ・主体的な学びを促す教育活動の推進
- ・思考力、表現力を育てる授業の創造
- •基礎基本の充実と徹底

《健やかな体》

- 基本的生活習慣の改善
- ・
 服発力 投力の向 ト

《豊かな心》

- ・規範意識の向上
- ・道徳教育の充実

中通小学校

| 郵便番号 | 725-0012 |
|-------|-------------------------------|
| 所 在 地 | 竹原市下野町3469番地 |
| 校 長 | 川内直美 |
| 学級数 | 8 児童数 123 |
| 電 話 | 0846-22-2606 |
| Eメール | nakadoori-e@hiroshima-c ed in |

■教育目標■

自ら学び、ともに学び合い、ともに伸びる

めざす 子ども像 竹のごとく伸びる子 自ら考え表現する子 思いやいのある子 たくましい体をつくる子

■学区の概要■

西に朝日山(標高454m)がそびえ、中央に北西から賀茂川が流れ、その河岸に、国道2号線より竹原市を結ぶ国道432号線が通り抜けている。また、沿道には大型スーパー、運輸会社、自動車販売会社などが並んでいる。教育に寄せる地域の関心は高く、図書ボランティア・ゲストティーチャーをはじめとしてたくさんの方々が学校に協力してくださっている。



■研究主題■

読解力・表現力の育成を目指した国語科の授業づくり ~ICTを活用した協働的な学びを通して~

■特色ある教育活動■

《思考カ・表現力の育成》 電子黒板等ICT機器を活用した研究授業の実施 国語科校内教育の充実、書く活動・発表の機会充実

《基礎基本の学力の定着》 バンブータイムでの基礎・基本の定着を図る取組 漢字・計算検定の実施、ハ中が連携した学力向上の取組

《読書の習慣》 朝読書絵本の読み語り、図書館整備・充実

家庭での読書活動の推進

《自己肯定感の育成》 児童・保護者・地域が一体となって行う体験活動

自己目標の設定, 小中連携の推進, 縦割り班活動

《清掃の徹底》 児童会活動による生活目標の設定と評価

小中連携による清掃の徹底

《体力の向上》 走・跳の運動能力の向上,目標の設定とがんばりの評価,

中通サーキットトレーニング

《食育の推進》 生活がんばり週間 (月1回),栄養バランス, お弁当の日

竹原西小学校

| 郵便番号 | |
|-------|-----------------------------------|
| 所 在 地 | 竹原市竹原町2440番地 |
| 校 長 | 藤野 恵子 |
| 学級数 | 12 児童数 256 |
| 電 話 | 0846-22-0946 |
| Eメール | takeharanishi-e@hiroshima-c.ed.jp |

■教育目標■

自ら学び 心豊かに生きる児童の育成

■めざす子ども像■

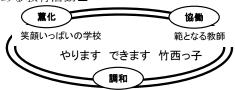
- 本気で学習
- 進んで挨拶
- 黙々掃除
- しっかり食べて しっかり運動



■研究主題■

主体的・協働的に学ぶ児童の育成 ~学び合い深め合う授業を創る~

■特色ある教育活動■



知・徳・体のバランスのとれた子ども

■学区の概要■

竹原西小学校は、安芸の小京都と呼ばれる竹原市のほぼ中心に位置し、学校のすぐ東側を賀茂川が流れ周 囲を葡萄畑や住宅地に囲まれた落ち着いた環境にある。明治6年創立の明親館を前身とする竹原西小学校 は、竹原小学校の児童数が増加したことにより昭和43年に創立され、今年で49年目を迎えた。 保護者も地域の方も協力的で、PTA活動にも多くの参加があり、活気ある教育活動が行われている。

東野小学校

| 郵便番号 | 725-0004 |
|-------|-------------------------------|
| 所 在 地 | 竹原市東野町914番地 |
| 校 長 | 芳川 真理 |
| 学級数 | 8 児童数 55 |
| 電 話 | 0846-29-0114 |
| Eメール | higashino-e@hiroshima-c.ed.jp |

■教育目標■

自ら学び,共に伸びる

■めざす子ども像■

気づき・考え・実行する子

■学区の概要■

本校は、竹原市中心部と国道2号線を結ぶ国道43 2号線の中間の西側山麓に位置している。 ・音読・メディアセン 地域は、賀茂川沿いの6地域からなっており、人家 〇基礎基本の学力の定着

は国道沿いに多く集まっている。

・単元傳成の工大・チョッ一ク・の何の 農村地帯であるが、農業に従事する保護者は減少し ○リーダーを中心とした異学年集団による仲間づくりており、竹原市を中心とした周辺町の会社・工場に勤・たて割り乗げ動・たて割り入るに 務している。近年新興住宅地の造成も減少し、全国的 傾向である少子高齢化は、当地域でも進んでいる。



■研究主題■

豊かにかかわり合い, 高め合う道徳教育 ~考え,議論する道徳の時間の充実を通して~

■特色ある教育活動■ 今年のキーワード「レッツ ビギン!」

○豊かな表現

- ・表情豊かな歌声 ・力強い東野太鼓
- ・音読・メディアセンターの充実
- - ・単元構成の工夫 ・学習リーダーの活用
- - ・たて割り班活動・たて割りそうじ
 - ・ロング昼休憩 ・たて割り班休憩
- ○花,野菜いっぱいの学校

| 郵便番号 | 725-0002 |
|-------|----------------------------|
| 所 在 地 | 竹原市西野町2025番地 |
| 校 長 | 吉田 美和 |
| 学級数 | 6 児童数 76 |
| 電 話 | 0846-29-0002 |
| Eメール | shouno-e@hiroshima-c.ed.jp |

■教育目標■

夢とおもてなしの心をもった児童の育成 ~地域と共に主体性と協働性を育む学校~

- ○夢や目標をもって挑戦する児童
- ○他者を理解し、力を合わせて伸びる児童

■学区の概要■

竹原市の北西部、国道2号線と432号線と の交差点の西方に位置し、山に囲まれ、賀茂川、 葛子川, 田万里川が流れ, 自然豊かな田園地帯 の中にある。北東に横大道古墳が、南に小早川 隆景の木村城址が, 東西に旧山陽道が走ってお り歴史的に古い町である。

学校教育への関心が高く、PTA活動・ボラ ンティア活動など、多くの協力をいただいてい る。



■研究主題■

自他を尊重し、よりよく生きようとする子どもの育成 -一人一人が考え、話し合う道徳の授業づくりを通して~

■特色ある教育活動■

知

知識や技能の習得(基礎・基本) (チャレンジタイム・ぐんぐんタイムの活用,家庭学習の習慣化) 主体的な学びの促進と思考力・表現力の向上

(授業スタイルに沿った授業展開,課題発見・解決学習の推進)

地域を生かした主体的な学びの創造 (生活科,総合的な学習の時間の充実) 望ましい人間関係の形成と規範意識の育成

「荘野しぐさ」の徹底、縦割り班活動、異学年交流の充実)

道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成 (各教科等と関連付けた道徳の授業改善) 自己肯定感の向上 (生徒指導の三機能を意識した授業、構成的エンカウンター等の実施)

体

体力の向上 (わんぱくタイム・ランニングタイムの活用,外遊びの奨励 体育科の授業の充実,体育的行事の充実) 健康で安全な生活習慣や態度の確立

(生活がんばりの実施、食育指導と保健指導の充実、安全指導の充実)

二賀小学校

| 郵便番号 | |
|-------|--------------------------|
| 所 在 地 | 竹原市仁賀町1280番地 |
| 校 長 | 竹林 千恵 |
| 学級数 | 3 児童数 12 |
| 電 話 | 0846-29-0307 |
| Eメール | nika-e@hiroshima-c.ed.jp |

■教育目標■

「自分を育てる」 ~子どもはみな伸びる芽をもっている~

■学区の概要■

竹原市北西部に位置し, 美しい賀茂川の流れ に沿って田畑があり山からは鹿や猪等が学校近 くまで降りてくる姿もよく見かけられるなど豊 かな自然がある。地域・保護者の教育への関心 は高く, 学校行事や多くの体験学習に協力して くださる方が多い。美しい自然や地域の人たち に支えられ, 地域合同行事や異学年集団による 体験活動を通して、主体的に学ぶ学習を進めて いる。



■研究主題■

「主体的な学びを育てる算数科授業の創造」 ~評価問題の活用を通して~

■特色ある教育活動■

- 仁賀小版「学びの変革」アクション・プランの推進 複式教育の充実(主体的な学びを育む授業の創造) 基礎・基本の徹底(チャレンジタイム・ICT活用) 家庭学習の定着(小中連携による取組)
- 道徳教育の推進(道徳的実践力の向上) 地域の「人・もの・こと」とのふれあいによる 「仁賀ふるさと学習」(和太鼓演奏・にじます飼育・ 養蜂・プログラミング等)
- 基本的生活習慣の定着(あいさつ・返事・言葉づかい) 業間体育(一輪車等) ランチルーム給食
- 【信頼】地域との合同行事(社会見学・運動会等)

吉名小学校

| 郵便番号 | 725-0013 | | | | | | | |
|------------------|-----------------------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 所在地 | 竹原市吉名町4907番地1 | | | | | | | |
| 校 長 | 清水 眞人 | | | | | | | |
| 学級数 | 8 児童数 109 | | | | | | | |
| 電 話 0846-28-0203 | | | | | | | | |
| Eメール | yoshina-e@hiroshima-c.ed.jp | | | | | | | |

■教育目標■

知・徳・体の調和のとれた笑顔に満ちあふれ る児童を育成する

知) 主体的な学び

徳

) 挑戦し頑張る場の充実

体) 体力向上, 食育の推進

■学区の概要■

- 〇吉名町は瀬戸内海に面しており, 温暖で穏やかな 気候と自然に恵まれている。
- 〇吉名町はかつて「じゃがいも日本一」に輝いたほど の産地であり、体験・交流活動を通して地域の方々 から子どもたちは多くのことを学んでいる。



■研究主題■

≪「学びの変革」実践指定校≫

「ICEモデルによる生きる力の育成をめざした 『主体的な学び』に関する研究 」

~思考スキルに基づくシンキングツール等を活用した

協働的な学習の取り組みを通して~

■特色ある教育活動■

①小中一貫教育

9年間を見通した系統的な指導 〇高学年での乗り入れ授業(算 数•音楽•体育•外国語活動)

〇合同行事(遠足•運動会等) 〇合同研修会

②基礎学力の向上・定着

〇思考力・表現力の育成 ○協働的な学びの場の工夫 OICT活用の推進 〇総合的な学習の時間の充実

③体力つくり

- ○芝生を活用した体力向上 ・ハッスルタイム
- 〇家庭や地域と連携した食育の充実(栄養教諭を中核に)

忠海中学校

| 郵 | 便番 | 号 | | 729-2317 |
|----|----|----|------------------------|-------------|
| 所 | 在 | 地 | 竹原市忠 | 海東町三丁目9番1号 |
| 校 | | 長 | | 北村 洋子 |
| 学 | 級 | 数 | 5 | 生 徒 数 84 |
| 電 | | 話 | 0 | 846-26-0929 |
| E. | メー | ルル | ni-j@hiroshima-c.ed.jp | |

■校訓■ 一広く やさしく 元気よく一

■教育目標■

夢や希望の実現に向けて、主体的に学び、行動する児童生徒の育成

■めざす子ども像■

- 【知】 ○自ら学び、考え、行動できる児童生徒
- 【徳】 ○自らを律し、他を思いやることができる児童生徒
- 【体】 ○心身ともに健康で頑張りぬく児童生徒

■学区の概要■

忠海は竹原市の東に位置し、往時は商業で栄えた港町 である。背後には緑豊かな黒滝山をはじめとする山々が 連なり, 前には大久野島の浮かぶ瀬戸の海が広がる風光 明媚なところである。

海岸線に沿って瀬戸内さざなみ線,国道185号線が 走り, 近くには宮床海岸がある。



■研究主題■

アイデンティティを育て,自己の可能性を伸ばす道徳教育の創造 ~対話から,道徳的判断力の育成を目指した授業づくりを通して~

■特色ある教育活動■

施設一体型小中一貫校の特徴を生かし、小学生と中学生が日常的に交流で きる時間と場所を確保する。9年間を見通したカリキュラムを作成し,ICT機器 を活用しながら、わかる・できる授業を創造する。

【確かな学力】

- ・授業評価シートの活用に よる授業研究
- 家庭学習の定着

【豊かな心】

- ・GT,地域資源等の活用,地域 連携授業
- ・自発的,自治的な児童会,生 徒会活動の充実

【健やかな体】

- ・体力調査と「体力つくり ファイル」の活用
- ・よい姿勢の定着
- ・残菜ゼロの取組

【信頼される学校】

- ・小中合同行事の充実
- ・教育活動の積極的な公開 (授業, 懇談会, 学校行事)

竹原中学校

| 郵便番号 | 725-0012 | | | | | | |
|------------------|---------------------------------------|--|--|--|--|--|--|
| 所 在 地 | 竹原市下野町2230番地 | | | | | | |
| 校 長 | 住元 康男 | | | | | | |
| 学級数 | 10 生 徒 数 321 | | | | | | |
| 電 話 0846-22-2045 | | | | | | | |
| Eメール | takehara-takehara-j@hiroshima-c.ed.jp | | | | | | |

■校訓■

「求真」

■教育目標■

「踏み出す力」の育成

~知・徳・体の調和のとれた笑顔に満ちあふれる 主体的な生徒の育成を通して~

■学区の概要■

南を瀬戸内海に面し、中央を賀茂川が流れる。 竹原市は安芸の小京都と呼ばれ, 製塩や酒造業 で栄えた歴史と文化の薫り高い街である。

学区には竹原、竹原西、中通、大乗の4小学校 があり、5つの小中学校で9年間を見据え、「自3体心身ともに健やかな生徒を育成する。 律の心に根ざした主体的な学びの創造」を教育指 針とし、小中一貫教育を推進している。





■研究主題■

自ら思考を深め、考えや思いをしつかり表現 できる生徒の育成

~ I C T機器やシンキングツールの活用を通して~

■特色ある教育活動■

めざす生徒像:直向(ひたむき)!竹中生

- 1 知 確かな学力の定着を図るため、基礎的・基本的な 知識・技能を定着させる。
 - 望ましい集団や社会の在り方を理解させ、自己の 目標の実現に向けて努力する生徒を育成する。

智茂川中学校

| 郵便番号 | 725-0004 | | | | | | |
|------|---------------------------------------|--|--|--|--|--|--|
| 所在地 | 竹原市東野町2051番地1 | | | | | | |
| 校 長 | 十亀 琢磨 | | | | | | |
| 学級数 | 6 生徒数 89 | | | | | | |
| 電 話 | 0846-29-0200 | | | | | | |
| Eメール | takehara-kamogawa-i@hiroshima-c.ed.ip | | | | | | |

■教育目標■

世界に向かって 夢をもち

心豊かにたくましく生きる生徒の育成

○めざす学校像

- ・あいさつや笑顔にあふれる学校
- ・生徒の目の輝きにあふれる学校

■学区の概要■

本校は、賀茂川の源流にある中学校区として知られ, 竹原市の北部に位置し、山と川にかこまれた風光明媚な 田園地帯にあり、豊かな自然に恵まれ、学校では懐かし い鐘の音が時を告げている。

地域や保護者の教育に寄せる期待と関心は高く, 地域 の子どもの健全な育成にむけて熱心な活動がなされてい る。こうした地域や家庭の教育力に培われた生徒は素直 で明るく、学校でも落ち着いた雰囲気で学習が進められ ている。



■研究主題■

「主体的に学び合う生徒の育成」 -特別支援教育の視点を取り入れ, 共感的な人間関係を育む授業づくりを通して―

■特色ある教育活動■

★学習:学習三則(自発・協同・鍛錬)の徹底

★心 : 道徳教育の充実・感動体験 ★体 : 部活動の充実(毎朝・夕練習)

★表現:生徒による生徒朝会

★体験:大豆栽培・味噌作り・福祉体験・職場体験・

味噌プレゼント活動・ボランティア活動(里帰り清掃)

赤ちゃんプロジェクト

★生活:生活三則(挨拶励行・時間厳守・環境美化)の徹底

賀茂川スタンダード (特別支援教育の視点から)

★安全:毎日,集団下校・下校パトロール

吉名中学校

| 郵便 | 番 | 号 | 725-0013 | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|---|----------|---------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 所ィ | 玍 | 地 | 竹原 | 竹原市吉名町4907番地1 | | | | | | | | |
| 校 | | 長 | | 二宮 力 | | | | | | | | |
| 学》 | 汲 | 数 | 4 | 生 徒 数 64 | | | | | | | | |
| 電 | | 話 | | 0846-28-0205 | | | | | | | | |
| Eメール yoshina-j@hiroshima-c.e | | | | | | | | | | | | |

■教育目標■

「知・徳・体の調和のとれた笑顔に満ちあふれる 生徒の育成し

- ○学力と体力の調和のとれた教育活動の推進
- ○生徒の自主的・主体的な態度の育成
- ○小中一貫教育の推進
- ○地域との連携の強化

■学区の概要■

本校は竹原市の西部に位置し、温暖な気候と自然に 恵まれている。主な産業としてジャガイモの栽培や煉 瓦工場で知られている。地域には,保育所・小学校・ 中学校が1校ずつしかなく、地域の学校への関心は高い。地域全体で吉名町の子どもたちを育てていこうという 雰囲気が出来てきている。



於旧校舎(現在改修中)

■研究主題■

ICEモデルによる生きる力の育成をめざした 「主体的な学び」に関する研究

■特色ある教育活動■

- ◎小中一貫教育…吉名小学校と系統性を持たせた教科指導,生活面の指導につ いて連携し、小学校から中学校への円滑な移行を図る。 ◎効果的な言語活動…「論理的思考力」「豊かな表現力」の育成における各教
- 図が末的な言語位動が「神画性的応考力」「まかな表現力」の育成における行教 科・領域での具体的な手立てを作成し、実践する。 健康教育…栄養や食の大切さについて考えさせ、日頃、作ってくれる人への 感謝の気持ちを育てるために、「自作弁当の日」を位置つけてい
- ◎吉中タイム…生徒一人ひとりに確かな学力の定着を図るために、週5日間、 (毎日15~50分間),国・社・数・理・英の5教科について、教科担当者が復習を中心に計画的に指導する。 ◎体力つくり…部活動を奨励し、新体力テスト・駅伝活動・体育朝会を活用し
- た体力つくりを行う。 ②歌声指導…行事前に集中して歌声活動に取り組み、校内に歌声を響かせる。 ③話し方集会…全校生徒が自分の意見をテーマに沿ってまとめ、全校集会で大 きな声で発表したり、プレゼン形式で発表する。

1 小・中学校児童生徒数及び学級数

(1) 小・中学校児童生徒数

(平成29年5月1日現在)

| 校 | 学校名 | | 児 | 童 | • | 生 | 徒 | 数 | |
|---|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-------|
| 番 | 子仪石 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 内81条学級 | 計 |
| 1 | 忠海小 | 25 | 32 | 21 | 30 | 21 | 18 | 1 | 147 |
| 2 | 大 乗 小 | 18 | 9 | 9 | 13 | 16 | 16 | 2 | 81 |
| 3 | 竹原小 | 37 | 43 | 39 | 33 | 38 | 32 | 4 | 222 |
| 4 | 中通小 | 17 | 23 | 17 | 23 | 19 | 24 | 2 | 123 |
| 5 | 竹原西小 | 28 | 41 | 55 | 42 | 40 | 50 | 6 | 256 |
| 6 | 東野小 | 7 | 10 | 7 | 13 | 7 | 11 | 2 | 55 |
| 7 | 荘 野 小 | 16 | 10 | 9 | 8 | 18 | 15 | 0 | 76 |
| 8 | 仁賀小 | 2 | 3 | 2 | 0 | 4 | 1 | 0 | 12 |
| 9 | 吉名小 | 10 | 19 | 26 | 18 | 20 | 16 | 8 | 109 |
| | 小学校計 | 160 | 190 | 185 | 180 | 183 | 183 | 25 | 1,081 |
| 1 | 忠海中 | 27 | 32 | 25 | | | | 4 | 84 |
| 2 | 竹原中 | 115 | 101 | 105 | | | | 2 | 321 |
| 3 | 賀茂川中 | 30 | 34 | 25 | | | | 3 | 89 |
| 4 | 吉名中 | 18 | 23 | 23 | | | | 1 | 64 |
| | 中学校計 | 190 | 190 | 178 | | | | 10 | 558 |

(2) 小・中学校学級数

(平成29年5月1日現在)

| 校 | 学校名 | | 学 | | 糸 | 及 | | 数 | |
|---|-------|------|-----|----|----|------|------|-------|----|
| 番 | 子仪石 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 81条学級 | 計 |
| 1 | 忠海小 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 7 |
| 2 | 大 乗 小 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 7 |
| 3 | 竹原小 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 11 |
| 4 | 中通小 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 8 |
| 5 | 竹原西小 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 2 | 3 | 12 |
| 6 | 東 野 小 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 8 |
| 7 | 荘 野 小 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 6 |
| 8 | 仁賀小 | 0.5 | 0.5 | 1 | 0 | 0.5 | 0.5 | 0 | 3 |
| 9 | 吉名小 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 8 |
| | 小学校計 | 9. 5 | 9.5 | 10 | 9 | 8. 5 | 9. 5 | 14 | 70 |
| 1 | 忠海中 | 1 | 1 | 1 | | | | 2 | 5 |
| 2 | 竹原中 | 3 | 3 | 3 | | | | 1 | 10 |
| 3 | 賀茂川中 | 1 | 1 | 1 | | | | 3 | 6 |
| 4 | 吉名中 | 1 | 1 | 1 | | | | 1 | 4 |
| | 中学校計 | 6 | 6 | 6 | | | | 7 | 25 |

2 小・中学校教職員数

(平成29年5月1日現在)

| | | | | | | 教 | | 職 | 員 | | <u>数</u> | 940, | 7 + 17 |)u 11./ |
|---|-------|-----|----|----|-----|----|-----|---------------------|----|----|----------|------|--------|----------|
| 校 | 校 | 1 | | | 県 費 | - | 職 | 」 員 数 | | | | 費 教 | 職員 | 数 |
| | | 計 | 校 | 教 | 教主 | 教指 | 教 | 教養 | 教栄 | 職事 | 職事 | 用用 | 介 | 補校 |
| 番 | 名 | , | | | | | | | | , | , , , , | 務 | 助 | 助 |
| | | | 長 | 頭 | 諭幹 | 諭導 | 諭 | 諭護 | 諭養 | 員務 | 員務 | 員 | 員 | 員務 |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 忠海 小 | 17 | 1 | 1 | 0 | 0 | 8 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 1 |
| 2 | 大 乗 小 | 15 | 1 | 1 | 0 | 0 | 7 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 |
| 3 | 竹 原 小 | 23 | 1 | 1 | 0 | 0 | 13 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 4 | 0 |
| 4 | 中通小 | 17 | 1 | 1 | 0 | 0 | 9 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 |
| 5 | 竹原西小 | 36 | 1 | 1 | 0 | 0 | 18 | 1 | 1 | 3 | 0 | 2 | 7 | 2 |
| 6 | 東野小 | 17 | 1 | 1 | 0 | 0 | 8 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 1 |
| 7 | 荘 野 小 | 13 | 1 | 1 | 0 | 0 | 7 | 1 | 0 | 1 | 0 | | 0 | 1 |
| 8 | 仁賀小 | 6 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | | 0 | 0 |
| 9 | 吉名小 | 22 | 1 | 1 | 0 | 0 | 9 | 1 | 1 | 1 | 0 | | 7 | 0 |
| | н и и | 22 | 1 | 1 | 0 | 0 | J | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | • | 0 |
| | 小学校計 | 166 | 9 | 9 | 0 | 0 | 81 | 9 | 2 | 11 | 0 | 10 | 28 | 7 |
| 1 | 忠海中 | 20 | 1 | 1 | 0 | 0 | 11 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 2 | 1 |
| 2 | 竹原中 | 30 | 1 | 1 | 0 | 0 | 19 | 1 | 0 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 |
| 3 | 賀茂川中 | 18 | 1 | 1 | 0 | 0 | 11 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| 4 | 吉名中 | 16 | 1 | 1 | 0 | 0 | 9 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 |
| | 中学校計 | 84 | 4 | 4 | 0 | 0 | 50 | 4 | 0 | 6 | 1 | 5 | 6 | 4 |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | 合 計 | 250 | 13 | 13 | 0 | 0 | 131 | 13 | 2 | 17 | 1 | 15 | 34 | 11 |

[※] 臨時職員等を含む

3 学校施設の現況

(1) 小学校 (平成29年5月1日現在)

| (1) 小子仪 | | | | | | | | | | (十)从 乙 | サヤカ月 | 1 口 |
|----------------|---------------------|---------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------|
| <u> </u> | 学校名 | | 忠 海 | 大 乗 | 竹 原 | 中 通 | 竹原西 | 東 野 | 荘 野 | 仁 賀 | 吉 名 | 合 計 |
| 児童数 | | | 147 | 81 | 222 | 123 | 256 | 55 | 76 | 12 | 109 | 1,081 |
| 校地 | | 面積 | 32, 254 | 20, 780 | 20, 292 | 13, 618 | 19, 133 | 9, 345 | 13, 313 | 5, 951 | 15, 854 | 150, 540 |
| 10,72 | | 1人当り | 139. 6 | 256. 5 | 91. 4 | 110.7 | 74. 7 | 169. 9 | 175. 2 | 495. 9 | 91.6 | 139. 3 |
| 校地のうち | 運動場 | 面積 | 18, 560 | 12, 045 | 9,600 | 8, 180 | 10, 465 | 5, 212 | 7, 295 | 2, 101 | 10,608 | 84, 066 |
| (大地ップララ) | 上 初 //// | 1人当り | 80.3 | 148.7 | 43. 2 | 66. 5 | 40.9 | 94.8 | 96. 0 | 175. 1 | 61. 3 | 77.8 |
| 建物面積(㎡) | 校 | 舎 | 4, 773 | 2, 910 | 5, 463 | 2, 404 | 3, 955 | 2,079 | 2, 265 | 1,078 | 3, 269 | 28, 196 |
| 是"的固慎(III) | 屋 | 体 | 1, 236 | 1, 100 | 1, 396 | 997 | 919 | 846 | 808 | 789 | 983 | 9,074 |
| | 普通 | 教室 | 7 | 7 | 11 | 8 | 13 | 9 | 6 | 3 | 8 | 72 |
| | | 理科 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 11 |
| | 特別教室 | 音楽 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 |
| | | 図工 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 |
| 保有教室数 | | 家庭 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 11 |
| 水百数主 数 | | 図書 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 |
| | | コンピューター | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 9 |
| | | 特別 | 2 | 2 | 2 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 10 |
| | | 多目的 | 1 | 3 | 11 | 0 | 3 | 0 | 2 | 1 | 1 | 22 |
| | | 教育相談 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 |
| プール | | | 25M 7 コース | 25M 5 コース | 25M 7 コース | 25M 5 コース | 25M 7 コース | |
| シェスサル の | 校 | 舎 | 昭和50年 3月 | 昭和53年 1月 | 昭和51年 3月 | 昭和47年 3月 | 昭和44年 3月 | 昭和57年 3月 | 昭和63年 3月 | 平成 6年 3月 | 昭和49年 2月 | |
| 主要建物の 建築年月 | 屋 | 体 | 昭和52年3月 | 昭和55年 3月 | 平成26年 3月 | 昭和55年 3月 | 昭和62年 3月 | 昭和60年 3月 | 昭和63年 6月 | 平成11年 3月 | 平成元年 3月 | |
| 77 | プー | ール | 昭和55年10月 | 平成12年 3月 | 昭和49年 7月 | 昭和53年 7月 | 昭和54年 8月 | 昭和52年 8月 | 昭和58年 2月 | 昭和39年 9月 | 昭和45年10月 | |

| (2) 中学校 | | | | | (平成29 | 年5月1 | 日現在) |
|-----------------|---|--------------|--------------|--------------|--------------|----------|----------|
| : | 学校名 | | 忠 海 | 竹 原 | 賀茂川 | 吉名 | 合 計 |
| : | 生徒数 | | 84 | 321 | 89 | 64 | 558 |
| 校地 | | 面積 | 32, 254 | 38, 198 | 20, 638 | 15, 854 | 106, 944 |
| 1人工匠 | | 1人当り | 139. 6 | 119.0 | 231. 9 | 91.6 | 191.7 |
| 校地のうち | 面積 | | 18, 560 | 26,001 | 13, 287 | 10,608 | 68, 456 |
| (大地・ケブラ) | 上到700 | 1人当り | 80.3 | 81.0 | 149. 3 | 61.3 | 122. 7 |
| 建物面積(㎡) | 校 | 舎 | 4, 773 | 7, 311 | 3, 200 | 3, 269 | 18, 553 |
| 是初面價(III) | 屋 | 体 | 1, 236 | 1, 471 | 941 | 983 | 4, 631 |
| | 普通 | 教室 | 5 | 11 | 6 | 8 | 30 |
| | | 理科 | 2 | 3 | 1 | 1 | 7 |
| | | 音楽 | 1 | 2 | 1 | 1 | 5 |
| | | 美術 | 1 | 2 | 1 | 1 | 5 |
| | | 技術 | 2 | 3 | 2 | 0 | 7 |
| 保有教室数 | | | 家庭 | 2 | 3 | 2 | 1 |
| | 特別教室 | 視聴覚 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| | | コンピューター | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 |
| | | 図書 | 1 | 2 | 1 | 1 | 5 |
| | | 特別 | 2 | 4 | 2 | 1 | 9 |
| | | 多目的 | 2 | 12 | 0 | 1 | 15 |
| | | 教育相談 | 2 | 6 | 1 | 0 | 9 |
| | | 25M 7 コース | 25M 7 コース | 25M 7 コース | 25M 7 コース | | |
| シェスキャル の | 校 | 舎 | 昭和50年 3月 | 昭和48年 9月 | 昭和54年 8月 | 昭和49年 2月 | |
| 主要建物の 建築年月 | 屋 | 体 | 昭和52年3月 | 昭和49年10月 | 平成 2年 3月 | 平成元年 3月 | |
| , <u> </u> | 数 特別教室 提 コン に す 多 教 プール | ール | 昭和55年10月 | 昭和51年 8月 | 平成 5年 3月 | 昭和45年10月 | |

[※] 忠海小学校及び忠海中学校の校地及び運動場の 1人当り面積は、各面積を両校の児童・生徒数合 計で除している。

[※] 吉名小学校及び吉名中学校の校地及び運動場の 1人当り面積は、各面積を両校の児童・生徒数合 計で除している。

4 学校保健

学校教育において、健康診断等を柱とする安全と傷害及び疾病の予防に関する保健教育と管理指導は、児童生徒の心身の健全な育成を図るとともに、児童生徒が学校生活を豊かに過ごす上で、基礎的な要素となる。

学校保健の推進にあたっては、体育、保健、安全及び給食指導との相互関連に十分配慮 しながら一層の充実を図っていく。

○ 児童生徒の疾病状況(平成28年度)

| | E // | | | | | 歯科 | | | 尿 | | | | |
|-----|--------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|
| 区分 | | 視力 | う歯なし | 処理完了 | 未処理 | 歯垢 | 歯肉 | 蛋白 | 潜血 | 糖 | 心臓 | アトピー | |
| | 平成28年度 | 人数 | 103 | 623 | 254 | 240 | 29 | 14 | 10 | 16 | 1 | 15 | 66 |
| 小学校 | 1 /3/20 1 /2 | 率% | 9. 1 | 55.8 | 22. 7 | 21. 5 | 2.6 | 1. 2 | 0.9 | 1.4 | 0.1 | 7.9 | 5.8 |
| 小子仅 | 10年前 | 人数 | 297 | 619 | 408 | 565 | 32 | 7 | 17 | 39 | 2 | 10 | 121 |
| | 10十前 | 率% | 18. 4 | 38. 9 | 25. 6 | 35. 5 | 2.0 | 0.4 | 1. 1 | 2. 5 | 0. 1 | 4. 1 | 7. 5 |
| | 平成28年度 | 人数 | 189 | 368 | 90 | 87 | 61 | 67 | 29 | 17 | 1 | 6 | 22 |
| 中学校 | 十,队20千及 | 率% | 33. 5 | 67. 5 | 16. 5 | 16. 0 | 11. 2 | 12. 3 | 5. 2 | 3. 0 | 0.2 | 3. 3 | 3. 9 |
| 十子仅 | 10年前 | 人数 | 230 | 432 | 108 | 256 | 71 | 42 | 18 | 18 | 2 | 20 | 56 |
| | 10十削 | 率% | 28.8 | 54. 3 | 13. 6 | 32. 2 | 8. 9 | 5. 3 | 2. 3 | 2. 3 | 0. 3 | 7.4 | 7. 0 |

| | 区分 | | | 腎臓疾患 | 耳疾患 | 鼻疾患 | 眼疾患 | 咽頭疾患 | ぜん息 | 肥満 |
|------|-----------------------|----|------|------|-------|-------|-------|------|------|-------|
| | 平成28年度 | 人数 | 6 | 0 | 115 | 350 | 110 | 15 | 44 | 102 |
| 小学校 | 1 | 率% | 0.5 | 0.0 | 10. 2 | 30. 9 | 9. 7 | 1.3 | 3. 9 | 9.0 |
| 1.7K | 10年前 | 人数 | 10 | 1 | 113 | 358 | 192 | 7 | 58 | 89 |
| | 10—Hi | 率% | 0.6 | 0. 1 | 7. 0 | 22. 2 | 11. 9 | 0.4 | 3. 6 | 5. 4 |
| | 平成28年度 | 人数 | 5 | 0 | 48 | 224 | 85 | 2 | 19 | 66 |
| 中学校 | | | 0. 9 | 0.0 | 8.3 | 39. 6 | 14. 9 | 0.0 | 3. 4 | 11. 7 |
| 计子仪 | 10年前 | 人数 | 5 | 2 | 48 | 123 | 82 | 0 | 52 | 47 |
| | 10 .1. Hi] | 率% | 0.6 | 0. 3 | 6. 0 | 15. 4 | 10. 3 | 0.0 | 6. 5 | 5. 9 |

5 学校給食

本市では、昭和22年に一部の学校でミルク給食が始められ、その後、昭和27年2月忠海西小学校における学校給食の開始を最初とし、現在では竹原市学校給食センターから小学校9校、中学校4校の全小中学校へ、安心・安全な学校給食の提供を行っている。

給食内容は、基本方針に定めるとおり、食に関する指導の教材となるために、地場産物や旬の食材の使用や、家庭の食器に近く温かみのある磁器食器やはしの導入などの食事環境の改善に努めている。また、竹原市産の米を使用し、週3.5回を米飯とし、主食・主菜・副菜のそろった日本型の食事スタイルを基本に、できるだけ手作りで、焼く・蒸す・煮る・炒めるなどの変化のある献立づくりを図っている。

竹原市学校給食センターで使用する食材選定は、「給食物資の調達に関する要綱」に基づき毎月入札を行い、公平かつ品質のよい食材の購入を図っている。また、JAや市内の生産者等と連携しながら、市の特産物や地元で生産される旬の農作物を年間を通して計画的に取り入れている。

竹原市学校給食センターは、市内の児童生徒からの応募で決まった「竹原すくすくセンター」というニックネームと、マスコットキャラクターの「竹ちゃん」を目印に、給食だよりの資料提供を行うなど、児童生徒や保護者に親しみやすい給食センターとなるような取組を図っている。

また、平成23年度から毎年実施している地場産物を使用

した料理コンテストの入賞作品を「竹ちゃん給食」として献立に採用し、旬や地場産物 への興味関心を高める献立づくりや、広島県の郷土料理を取り入れ、食文化の継承も行 っている。

(1) 給食施設の概要

(平成29年5月1日現在)

| 施設名 | 建設年 | 建築構造 | 延床面積 (m²) | 保有面積 (m²) | 完全給食開始 |
|-------------|---------|------|--------------|--------------|-------------|
| 竹原市学校給食センター | 平成 22 年 | 鉄骨 | 848 | 1, 868. 25 | 平成 22 年 9 月 |

(2) 学校給食調理場運営状況

(平成29年5月1日現在)

| | 児童生徒数 | | | 常勤職員 | | | | | | |
|-------------|--------|-----|--------|------|---------|-----|----|----|-------|--|
| 施設名 | 小学校 | 中学校 | 計 | 所長 | 副所長 | 栄養士 | 栄養 | 事務 | 調理員 | |
| | 7字以 | 十子以 | μΙ | MIX | 即灯文 | 术食工 | 教諭 | 職員 | WHITE | |
| 竹原市学校給食センター | 1, 081 | 558 | 1, 639 | 兼1 | 1 兼1 | 0 | 兼2 | 1 | (20) | |

()は民間委託職員

6 食育推進について

各学校で食育推進リーダーを中心に,地域の特色を生かした食に関する指導計画を作成し, 児童生徒へ各教科における食に関する指導を行っている。

中でも、栽培活動や調理などの体験学習は、児童生徒の食に対する興味関心を高めるとともに、食べ物や生産者への感謝の心が芽生え、学校給食の残菜率の低下などの成果がでている。

児童生徒の食に関する課題から、平成29年度「食べるの大好き竹原っこ」育成計画の具体 目標を「朝ごはんの充実を図る」「食事のマナーを身につけさせる」「食事の準備のできる子を 育成する」「よく噛んで食べることの大切さを知らせる」の4点を掲げ、竹原市食育推進行動 計画に則しながら継続的な取組を図っている。

「食べるの大好き竹原っこ」育成計画

学校・地域・家庭が共に育てる

児童生徒へ

○生きる力(心身の健康) ○作る喜び

○食べる楽しさ

○感謝の心

【具体目標】

1 朝ごはんの充実を図る

いつも食べる子を100%に近づけ、単品ではなく2皿以上の朝ごはんを食べる子を90%以上にし、赤・黄・緑のグループの食品をそろえた朝ごはんを食べる子を60%以上にすることをめざす。また、生活リズムを整え心身の健康を図るため、早寝早起き朝ごはんに気をつける子を90%以上にすることをめざす。

2 食事のマナーを身につけさせる

はしの持ち方・食べる姿勢・正しい配膳ができ、いつもマナーに気をつけている子を90%以上にする。

3 食事の準備のできる子を育成する

料理を作るのが好きな子を増やし、炊飯器でごはんが炊ける子を3年生までに90%にする。小学校卒業までに自分で1食分の食事を作れる子を90%以上にし、中学卒業までに自分の弁当を作れる子を100%に近づける。

4 よく噛んで食べることの大切さを知らせる

よく噛んで食べたり、味わって食べたりする子を80%以上にする。

食育の取組

- ・毎月1回…ひろしま産物DAY
- ・毎月1回…竹ちゃん給食
- 毎月19日…食育の日
- ・6月…竹原市食育週間
- ・10月…ひろしま食育ウィーク
- 1月…学校給食週間

竹ちゃん給食 (児童生徒が考案した竹原ならではの料理)

| 月 | 料理名 | 月 | 料理名 |
|-----|-------------------------|-----|-----------------|
| 4 | 竹ちゃんサラダ | 1 1 | 峠下牛のタコライス |
| 5 | たけのこのクリーム煮 | 1 2 | じゃがいものみそ煮 |
| 6 | 峠下牛とアヲハタマー | 1 | ジャーマンポテトエッ グ |
| 7 | マレードの甘辛炒め 夏野菜まんさいスープ | 2 | たこじゃがソテイ |
| 9 | 元気☆うまうま丼 | 3 | よけのこの一ななげて |
| 1 0 | 牛たこ井 | 3 | たけのこの三色そぼろ |

VII 竹原市立幼稚園の現況

1 竹原市立幼稚園における教育目標

幼児期は、人間形成の基礎を培う大切な時期である。幼稚園教育は、遊びを中心とし、集団生活を通した教育が行われることが重要である。

幼児の発達段階に応じた指導と、幼児相互の交流を通じて、幼児の心身の発達を助長し、その資質・能力の基礎を培うため、一人ひとりに応じた総合的な指導が行える施設整備と幼稚園教育の条件整備を図り、幼稚園教育の普及・充実に努める。

2 就学前の状況

(平成29年5月1日現在)

| | | (十成23年3月1日祝任) | | | | | | | | | | | | | |
|------|----|---------------|---------|---|-----|-------|-----|------|----------|------|-------------|------|-----|-------|-----|
| 区 | 分 | 施設 | 名 | 定 | 員 | 3歳未 | 満児 | 3歳 | 児 | 4歳 | 児 | 5歳 | 児 | 計 | |
| | | 竹 原 | . 西 | | 140 | | _ | | 12 | | 13 | | 15 | | 40 |
| 幼 | 市 | 竹原 | 東 | | ' | | | 仂 | k | 園 | † | | | | |
| 稚 | 立 | 大 | 乗 | | | | | 仂 | k | 園 | | | | | |
| | | 小 | 計 | | 140 | | 0 | | 12 | | 13 | | 15 | | 40 |
| 園 | 私立 | 聖 | 愛 | | 90 | | _ | (4) | 3 | | 3 | | 3 | (10) | 9 |
| | 立 | 小 | 計 | | 90 | | 0 | (4) | 3 | | 3 | | 3 | (10) | 9 |
| | | 竹原 | . 西 | | 90 | | 13 | | 8 | | 7 | | 14 | | 42 |
| | | 吉 | 名 | | 90 | (19) | 18 | | 9 | (13) | 12 | | 17 | (58) | 56 |
| | | 竹 | 原 | | 80 | (19) | 17 | | 8 | | 13 | | 17 | (57) | 55 |
| 保 | | 大 | 井 | | 40 | | 4 | | 0 | | 4 | | 5 | | 13 |
| 育 | 市 | 中 | 通 | | 60 | | 15 | | 7 | | 12 | | 14 | | 48 |
| | 立 | 東 | 野 | | 45 | | 3 | | 5 | | 4 | | 2 | | 14 |
| 所 | | 市外 | 入所 | | _ | | 1 | | 1 | | 0 | | 0 | | 2 |
| | | 田万 | 里 | | | | | 付 | t | 所「 | 中 | | | | |
| | | 仁 | 賀 | | | | | 付 | k | 所「 | † | | | | |
| | | 小 | 計 | | 405 | (74) | 71 | | 38 | (53) | 52 | | 69 | (234) | 230 |
| | | 忠海東部 | 1号 | | 5 | | _ | | 1 | | 1 | | 2 | | 4 |
| | | 心世界印 | 2 • 3 号 | | 30 | (14) | 10 | | 3 | (9) | 7 | (5) | 4 | (31) | 24 |
| | | 明 星 | 1号 | | 10 | | _ | | 2 | (2) | 1 | | 2 | (6) | 5 |
| | | 97 生 | 2・3 号 | | 60 | (18) | 10 | (9) | 7 | (9) | 8 | (7) | 4 | (43) | 29 |
| Į J | | 大 乗 | 1号 | | 10 | | _ | | 5 | | 5 | | 2 | | 12 |
| تح | 私 | 7 | 2・3 号 | | 50 | (18) | 17 | | 5 | | 10 | | 6 | (39) | 38 |
| \$ | | 中央 | 1号 | | 95 | | — | | 21 | (18) | 17 | (17) | 16 | (56) | 54 |
| 園 | 立 | · /· 人 | 2・3号 | | 60 | (41) | 36 | (13) | 10 | | 18 | | 10 | (82) | 74 |
| [AK] | | 賀茂川 | 1号 | | 10 | | — | | 4 | | 3 | (3) | 2 | (10) | 9 |
| | | 貝 八 川 | 2 • 3 号 | | 80 | (18) | 15 | (18) | 16 | (21) | 20 | | 12 | (69) | 63 |
| | | 市外 | | | _ | | 1 | | 0 | | 0 | | 2 | | 3 |
| | | 小 計 | 1号 | | 130 | | 0 | | 33 | (29) | 27 | (26) | 24 | (89) | 85 |
| | | | 2 • 3 号 | | 280 | (109) | 88 | (48) | 41 | (67) | 63 | (40) | 36 | (264) | 228 |
| | 住 | 民基本台帳 | 長年齢別人 | П | | | 398 | | 126 | | 159 | | 158 | | 841 |

※()数字は広域入所を含んだ人数

3 幼稚園施設の現状

(平成29年5月1日現在)

| | | | 園地面積 | (m^2) | | 建物面積 | $f(m^2)$ | | 建築年月 | | |
|---|-----|--------|-------|---------|---------|------|----------|-----|---------|--------|--|
| | 幼稚園 | 園 | 園地 | | 左のうち運動場 | | 遊戯室 | 園児室 | 園児室 | 遊戯室 | |
| | | 面積 | 1人当り | 面積 | 1人当り | 園舎 | 处于败土 | | 图儿主 | 近感主 | |
| | 大 乗 | 2, 316 | | 882 | ı | 328 | 115 | 1 | 昭和46.12 | 昭和52.8 | |
| | 竹原東 | 2,656 | - | 2, 051 | - | 292 | 182 | 3 | 昭和42. 3 | 昭和42.3 | |
| | 竹原西 | 2, 765 | 69. 1 | 1,776 | 44.4 | 373 | 147 | 3 | 昭和42. 3 | 昭和42.3 | |
| 計 | | 5, 081 | _ | 2,658 | _ | 993 | 444 | 7 | _ | _ | |

平成29年度 幼稚園紹介

竹原西幼稚園

| 郵便番号 | 725-0022 |
|-------|--------------|
| 所 在 地 | 竹原市本町四丁目3番1号 |
| 園長 | 木村 みづほ |
| クラス数 | 3 園児数 40 |
| 電 話 | 0846-22-2394 |

■教育目標■

夢をもち、心豊かにたくましく生きる子どもの育成

- ○げんきな子 (うごく力・やりぬく力)
- ○やさしい子 (感じる力・かかわる力)
- ○がんばる子 (考える力・やりぬく力)





■研究主題■

運動遊びが好きな子どもを育てる

~友達とのかかわり合いを通して~

■特色ある教育活動■

1 げんきな子(体)

- ○したいことを見つけて、運動したり製作活動をしたりする。
- 友達とのかかわりの中で伸びていく。

2 やさしい子(徳)

- ○互いの気持ちや考えを伝え合って、よい関係をつくる。
- 道徳性の芽生え、規範意識を育む。
- ・心を動かす経験

3 がんばる子(知)

○知っていることを工夫し,試行錯誤して最後までやりきる。 ・達成感や認め合い励まし合う振り返りの場を大切にする。

VII 生涯学習の現況

1 生涯学習重点目標

生涯学習を推進するうえで、重要な役割を担う社会教育の充実を図るため、生涯学習の理念に基づき、豊かな生涯学習社会を築くことを目標に、生涯の各時期に「だれでも、いつでも、どこでも」学べる体制づくり、また、国際化、情報化、少子高齢化に対応する適切かつ有効な学習活動ができるよう学習機会の提供及び環境整備に努める。

(1) 生涯学習の推進

「生涯学習推進体制」の確立と学習支援体制の整備及び市民のニーズに対応する学習機会を 充実して、市民の生涯学習を推進する。

(2) 生涯スポーツの振興

幼児から高齢者が生涯にわたりスポーツに親しみ、健康・体力つくりの推進を図り、健やかで豊かな生活を送るための普及・振興を推進する。

(3) 青少年の健全育成(市長部局補助執行)

自分たちの住む地域に関心をもち、青少年の連帯や主体性を育てるとともに、地域ぐるみで 青少年の健全育成を図る。

(4) 芸術・文化の振興

芸術文化活動を行う個人・団体の交流を促進し、活動の充実や人材の育成に努めるとともに、活動の場を増やし、連携による相乗効果につながる活動を支援する。

(5) 文化財の保存活用

市民一人ひとりが文化財に触れる機会を増やすことで、郷土の文化財について理解を深め、 関係機関・団体と連携する中で、文化財の保存・継承・活用の充実を図る。

2 生涯学習施設

(1) 教育施設

| 施設名 | 所 在 地 | 構造 | 延床面積 | 施設内容 | 開始年月 |
|------------------|-----------------|----------------------|---------------|--|--------------|
| 竹原市民館 | 中央五丁目 5番24号 | RC 造 地上3階 地下1階 | 3, 714. 33 m² | ホール,料理教室,会議 室(5),和室(3) 竹原中央公民館併設 | 昭和 43 年 10 月 |
| 竹原市 歴史民俗資料館 | 本町三丁目 11番16号 | 木造 2階 | 242. 03 m² | 展示室(3), 交流ホール | 昭和55年6月 |
| 松阪邸 | 本町三丁目 9番22号 | 木造 2階 | 347. 09 m² | 玄関,土間,座敷,蔵, 便所,台所 | 昭和59年6月 |
| 竹原市町並み 保存センター | 本町三丁目 11番7号 | RC 造 2階 | 615. 13 m² | 展示室,収蔵室,集会室,研究室 | 昭和 57 年 7月 |
| 光本邸 | 本町三丁目 7番4号 | 木造 平屋 | 156. 02 m² | 和室,展示室 (今井政之 陶芸の館) | 平成 12 年 10 月 |
| 森川邸 | 中央三丁目 16番33号 | 木造 2階 | 750. 00 m² | 主屋,離れ座敷,茶室, 隠居部屋,土蔵,表門, 脇門,塀 | 平成 16 年 4 月 |

(2) 体育施設

| 施設名 | 面積 | 施設の概要 | 所在地 |
|--------------|----------------------------|---------------------------------|-----------------|
| 市営テニスコート | 1, 502. 89 m ² | テニスコート2面 | 竹原町 3471 番地 |
| 大井スポーツ広場 | 2, 260. 00 m ² | 多目的グラウンド | 下野町 926 番地 5 |
| 忠海スポーツ広場 | 1, 120. 00 m ² | 多目的グラウンド | 忠海東町二丁目 5040 番地 |
| 宿根スポーツ広場 | 588. 00 m² | 多目的グラウンド | 下野町 345 番地 |
| 小梨スポーツ広場 | 2, 706. 00 m ² | 多目的グラウンド | 小梨町 10385 番地 3 |
| 田万里スポーツ広場 | 3, 246 m² | 多目的グラウンド | 田万里町 1241 番地 |
| 田万里プール | 225. 00 m² | 25m×4コース | 田万里町 1229 番地 1 |
| バンブー竹原市体育館 | 3, 500. 00 m ² | バレーボール2面、バトミントン8面、トレーニングルーム、会議室 | 高崎町 1414 番地 |
| バンブー多目的グラウンド | 18, 000. 00 m ² | 400mトラック(8コース)、サッカー1面、ソフトボール2面 | 高崎町 1414 番地 |
| バンブーテニスコート | 11, 000. 00 m ² | テニスコート8面 | 高崎町 1414 番地 |

(3) 公民館

| 施設名 | 所在地 | 構造 | 延床面積 | 施設内容 | 開館年月日 |
|---------|-------------------|-----------------------|------------------------------|--|-------------------|
| 忠海東公民館 | 忠海東町五丁目 1番13号 | RC造2階 | 432. 50 m² | 和室,会議室,料理実習室, 図書室,集会室 | 平成 3年 1月 4日 |
| 忠海公民館 | 忠海中町二丁目 26番1号 | RC造2階 | 902. 37 m² | 和室②,生涯学習室,図書室 料理実習室,集会室 | 昭和29年7月8日 |
| 大乗公民館 | 高崎町 185 番地 7 | R C 造 2 階 (コミセン併設) | 612. 00 m² | 和室21, 会議室, 資料室, 図書室 展示室, 料理実習室, ホール | 昭和57年4月1日 |
| 竹原中央公民館 | 中央五丁目 5番24号 | RC造3階 (竹原市民館に併設) | 3, 714. 33 m ² | ホール,料理教室,図書室 展示室会議室(5),和室(3) | 昭和 52 年 4 月 19 日 |
| 小梨公民館 | 小梨町 10381 番地 1 | S造平屋 (コミセン併設) | 299. 97 m² | 和室②,閲覧室,料理実習室 集会室,会議室 | 昭和 28 年 10 月 1 日 |
| 竹原西公民館 | 竹原町 2377 番地 1 | R C 造 2 階 (コミセン併設) | 620. 00 m² | 和室(3),会議室(2),ホール 料理実習室 | 昭和 58 年 4 月 23 日 |
| 中通公民館 | 下野町 3478 番地 | RC造2階 | 604. 47 m ² | 和室(2),会議室(3),図書室 料理実習室 | 昭和63年3月29日 |
| 東野公民館 | 東野町 887 番地 | RC造2階 | 609. 77 m² | 和室(4),会議室(2),図書室 料理実習室 | 昭和 28 年 10 月 11 日 |
| 荘野公民館 | 西野町 2054 番地 1 | RC造2階 | 606. 75 m² | 和室(2),会議室(4),図書室 料理実習室 | 昭和27年3月2日 |
| 田万里公民館 | 田万里町 1229 番地 1 | RC造2階 | 1, 554. 25 m² | 和室(2),会議室,図書室 輝翔室,特館 | 昭和 29 年 12 月 12 日 |
| 仁賀公民館 | 仁賀町 1292 番地 1 | 木造平屋 (生活改善センターに(機) | 180. 94 m² | 和室②,調理実習室,集会室 | 昭和 31 年 9月 18日 |
| 大井公民館 | 下野町 1525 番地 | RC造2階 | 608. 24 m² | 和室(4),会議室,図書室 調理実習室 | 昭和 38 年 5 月 25 日 |
| 吉名公民館 | 吉名町 4956 番地 22 | RC造2階 (出張所・コミセン併設) | 660. 00 m² | 和室(2), 会議室(2), ホール 調理実習室 | 昭和34年6月10日 |

竹原市文化財一覧表

| | 名 称 | 所 在 | 指定年月日 |
|----------|-----------------|--------------------|----------------------|
| 国重要文化財 | 銅鐘(高麗鐘) | 本町三丁目 13 番 1 号 | 明治 43 年 4 月 20 日 |
| | 春風館賴家住宅 | 本町三丁目7番24号 | 昭和 63 年 12 月 19 日 |
| | 復古館賴家住宅 | 本町三丁目7番26号 | 昭和 63 年 12 月 19 日 |
| 国重要伝統的建造 | 竹原市竹原地区伝統的建 | 本町一丁目,三丁目,四丁目 | 昭和 57 年 12 月 16 日選定 |
| 物群保存地区 | 造物群保存地区 | の一部 | 哈和 57 平 12 月 10 日 選足 |
| 国天然記念物 | スナメリクジラ廻游海面 | 高崎町阿波島南端 | 昭和 5年11月19日 |
| | 忠海八幡神社社叢 | 忠海中町三丁目7番15号 | 昭和11年9月3日 |
| 国登録有形文化財 | 旧日の丸写真館 | 本町一丁目 4996 番地 2 | 平成 26 年 12 月 19 日 |
| 県重要文化財 | 木造十一面観音立像 | 本町三丁目 10番 44号 | 昭和 37 年 3 月 29 日 |
| | 木造聖観音菩薩坐像 | 吉名町観音谷 | 昭和 53 年 1 月 31 日 |
| 県 史 跡 | 礒宮 | 田ノ浦一丁目6番8号 | 昭和 12 年 5 月 28 日 |
| | 唐崎常陸介墓 | 本町一丁目 16番 22号 | 昭和17年6月9日 |
| | 賴惟清旧宅 | 本町三丁目 12番 21号 | 昭和 32 年 9 月 30 日 |
| | 木村城跡 | 新庄町末宗 | 昭和 48 年 3 月 28 日 |
| 県天然記念物 | 忠海のウバメガシ樹叢 | 忠海床浦一丁目 12番 27号 | 昭和 12 年 5 月 28 日 |
| | 楠神社のクスノキ | 忠海長浜三丁目8番1号 | 平成 4年10月29日 |
| 県無形民俗文化財 | 福田のししまい | 福田町中谷 稲生神社 | 昭和 56 年 4月 17 日 |
| | 忠海の祇園祭みこし行事 | 忠海中町三丁目7番15号 | 昭和 59 年 11 月 19 日 |
| 市重要文化財 | 光海神社棟札 | 吉名町宮条 2046 番地 | 昭和 46 年 12 月 27 日 |
| | 吉名八幡宮法楽連歌 | 吉名町宮条 2046 番地 | 昭和 46 年 12 月 27 日 |
| | 駕籠 | 忠海床浦二丁目 10 番 1 号 | 昭和 46 年 12 月 27 日 |
| | 弾薬輸送庫 | 忠海床浦二丁目 10 番 1 号 | 昭和 46 年 12 月 27 日 |
| | 松阪家住宅 | 本町三丁目9番22号 | 昭和 60 年 4 月 10 日 |
| | 西方寺普明閣・お籠堂 | 本町三丁目 10番 44号 | 昭和 62 年 12 月 26 日 |
| | 紙本著色竹原絵屏風 | 本町三丁目7番24号 | 平成 2年 2月 14日 |
| | 森川家住宅 | 中央三丁目 16番 33号 | 平成 16 年 7月 21 日 |
| 市 史 跡 | 福田社倉 | 福田町中谷 1571 番地 | 昭和 38 年 9月 13 日 |
| | 郷賢祠 | 田ノ浦二丁目 | 昭和 38 年 9 月 13 日 |
| | 横大道古墳群 | 新庄町東鷺ノ森 331 番地 | 昭和 38 年 9月 13 日 |
| | 田万里鏡田古墳群 | 田万里町鏡田 | 昭和 38 年 9月 13 日 |
| | 能島村上氏の遺跡 | 竹原町 124 番地 外 | 平成 4年 12月 24日 |
| | 東永谷製鉄遺跡 | 下野町 966 番地 1 の一部 | 平成 20 年 10 月 22 日 |
| | 水小石双 纵退哟 | 下野町 974 番地 1 の一部 | |
| 市天然記念物 | 宿根の大桜 | 下野町字宿郷 359 番地 | 平成 26 年 4 月 24 日 |
| 市無形民俗文化財 | 田万里八幡神社当屋祭 | 田万里町 1222 番地 | 平成 25 年 10 月 24 日 |
| | オハケ神事 | | |

IX 図書館

- 1 館 名 市立竹原書院図書館 竹原市視聴覚ライブラリー
- 2 所在地 竹原市中央四丁目 7番 1 1号(〒 7 2 5 0 0 2 6)
 TEL 0 8 4 6 2 2 0 7 7 8
 FAX 0 8 4 6 2 2 1 0 7 2
 ホームページ http://takeharashoin.jp/
 メールアトンス takeharashoin@giga.ocn.ne.jp
- 3 開館時間・休館日

開館 午前10時~午後6時

休館 毎週月曜日,毎月末日(館内整理日),国民の祝日(文化の日を除く), 特別整理期間,年末年始(12月28日~1月4日)

4 施設・設備

建物面積 736.8 m² (竹原福祉会館3階に併設) 事務室 32.2 m² 視聴覚室 27.9 m² 閲覧室 132.0 m² 児童室 59.4 m² 書庫書庫 67.2 m² 新聞雑誌コーナー 21.0 m² 参考図書室、郷土資料コーナー 54.8 m² その他 342.3 m²

5 館の特色

- (1) 当図書館設立のもととなった「竹原書院」は、寛政5年(1793)に郷土の先賢によって、子弟のための郷塾として設けられたものであり、その精神的伝統は、明治43年(1910)に設立された、社団法人「竹原書院」に継承され、現在の図書館名の中にも生き続けている。
- (2) 慶安3年(1650)以来,昭和35年に廃止されるまで,約300年間続いた旧竹原塩田に関する資料を多数所蔵している。
- (3) 賴山陽を中心とする資料を収集した「賴山陽文庫」は、これまでに刊行された殆どを収集している。
- (4) 昭和57年10月7日から移動図書館車「わかたけ号」が運行を開始し、図書を積載して、市内を8コースに分けて巡回している。

6 分類別蔵書数

(平成29年3月31日現在)

| | 区分 | 蔵書数 | 年 | 間 | 増 | 加 | | | 数 | |
|------|---------------------|-----------|---|--------|---|---|--------------|---------------|------|----|
| 分 類 | | 殿 音 剱 | 受 | 入 | 廃 | 棄 | 等 | 小 | 計 | 計 |
| 0. 絲 | 記 | 12, 890 | | 391 | | | 5 | | 3 | 86 |
| 1. 担 | 哲 学 | 7, 554 | | 105 | | | 1 | | 1 | 04 |
| 2. 暦 | 型 史 | 17, 173 | | 390 | | | 102 | | 2 | 88 |
| 3. 社 | 上 会 科 学 | 26, 187 | | 555 | | | 10 | | 5 | 45 |
| 4. É | 1 然 科 学 | 12, 818 | | 424 | | | 8 | | 4 | 16 |
| 5. I | 二 学 | 14, 159 | | 482 | | | 10 | | 4 | 72 |
| 6. 產 | 美 | 6, 100 | | 171 | | | 1 | | | 70 |
| 7. 芸 | 告 術 | 13, 191 | | 346 | | | 8 | | 3 | 38 |
| 8. 静 | 善 学 | 2, 737 | | 80 | | | 1 | | | 79 |
| 9. 戈 | 学 学 | 86, 899 | 4 | 2, 552 | | | 82 | | 2, 4 | 70 |
| | 計 | 199, 708 | ļ | 5, 496 | | | 228 | | 5, 2 | 68 |
| 内 | 児童書 | 47, 982 | | 1,620 | | | 81 | | 1, 5 | 39 |
| PI | 郷土 | 16, 715 | | 371 | | | 0 | | 3 | 71 |
| その他 | (漫画図書) | 3, 198 | | | | | | | | |
| 声 | 養書冊数 | 202, 906冊 | | | | | | | | |

平成28年度受入内訳購入
寄贈
その他
遡及入力
計4,839冊
315冊
296冊
73冊
5,523冊

7 郷土資料

| 区 分 | | 内 | 容 | 冊 | 数 | • | 点 | 数 |
|------|------|------------|----------|-----|---|---|---------|-------|
| 図 | 書 | 竹原市内に関するも |) D | | | | | 8,866 |
| | 青 | 広島県内に関するも |) D | | | | | 7,849 |
| 近 世 | 文書 | 市史編さん史料として | て,合併町村から | 約20 | | | 190 000 | |
| 儿 巴 | 义 音 | 集めたもの、及び竹 | 原塩田関係史料 | | | | 120,000 | |
| 古絵図・ | おおお | 江戸時代の古絵図(| 軸物)と,郷土 | | | | | 20 |
| 白枟凶• | 14年類 | に関した拓本類 | | | | | | 32 |

8 特別資料

(1) 賴山陽文庫849冊(2) 橋本曇斉資料67点

(3) 寄贈文庫 11,686冊 (光本・池田総理記念・唐島・吉井・山下・三村・松山など)

9 視聴覚資料・機器

| 種類 | 数 | 種類 | 数 |
|-----------|------|--------------|--------|
| レコード | 258枚 | ビデオテープ | 126本 |
| 録音テープ | 410本 | マイクロフィルム | 188巻 |
| スライドフィルム | 36巻 | レーザーディスク | 19タイトル |
| 8ミリ映画フィルム | 1巻 | DVD | 121枚 |
| 紙芝居 | 886組 | カセットテープレコーダー | 2台 |
| コンパクトディスク | 84枚 | オーバーヘッド | 1式 |

10 利用状況

(1) 開館日数

 ・本館
 276日

 ・移動図書館車
 96日

 ・竹原市視聴覚ライブラリー
 276日

(2) 図書の利用

| | | 本館 | 移動図書館 | 合計 |
|------|---------|----------|---------|----------|
| | 登 録 者 数 | 14, 719 | | 14, 719 |
| 個人貸出 | 貸出者数 | 27, 990 | 7, 364 | 35, 354 |
| | 貸出冊数 | 133, 102 | 28, 850 | 161, 952 |
| 団体貸出 | 登録団体数 | 254 | _ | 254 |
| 凹件貝山 | 貸出冊数 | 10, 531 | 34, 232 | 44, 763 |
| 停本所 | 停 本 所 数 | 13 | _ | 13 |
| | 貸出冊数 | 10, 890 | _ | 10, 890 |
| 貸出冊 | 数合計 | 154, 523 | 63, 082 | 217, 605 |

X たけはら美術館

1 館 名 たけはら美術館

《たけはら合同ビル面積概要》

- 2 所在地 竹原市中央五丁目 6番 2 8号(〒 7 2 5 0 0 2 6) TEL・FAX 0 8 4 6 - 2 2 - 3 5 5 8 ホームページ http://www.city.takehara.lg.jp/ メールアト レス take-art@city.takehara.lg.jp
- 3 施設・設備

敷地面積 4,911.09㎡ 広島県 5,086.35㎡ 建築面積 1,886.14㎡ 竹 原 市 1,573.22㎡ 延床面積 7,783.93㎡ (たけはら美術館) 商工会議所 1, 124. 36 m² 《たけはら美術館面積概要》 1階 文化創造ホール(展示室3) 339.13㎡ 放送室 $6.33 \, \text{m}^2$ 25.84m² ロビー 事務室 $1\ 1\ 6.\ 0\ 6\ m^2$ 研究室 21.47m² その他 $106.08\,\mathrm{m}^2$ 倉 庫 $1\ 1\ 0.\ 5\ 1\ m^2$ 2階 アートギャラリー・池田コレクション (展示室1・2) $446.40 \,\mathrm{m}^2$ $1\ 1\ 2\ .\ 7\ 1\ m^2$ その他

 $6.1. 2.5 \,\mathrm{m}^2$

【内訳】

4 開館時間・休館日

収蔵庫

開館 午前9時~午後5時 (入館は4時30分まで) 休館 毎週月曜日,祝日の翌日,年末年始(12月28日~1月4日)

5 館の概要

たけはら美術館は、広島県、竹原市並びに竹原商工会議所が合同で建設した「たけはら合同ビル」の一角に、本市の芸術・文化振興の拠点として、美術品の鑑賞の機会を提供し、広く文化活動のために利用していただくため、平成4年11月1日に開館した。

当館は、本市出身の元内閣総理大臣池田勇人氏が生前愛蔵し、昭和41年に故人の遺志を受けてご 遺族から寄贈された美術品(池田コレクション)を所蔵している。

池田コレクションは、竹原にゆかりのある江戸後期の儒学者賴山陽(書)の他、狩野芳崖、横山大観、川合玉堂(日本画)、藤田嗣治(素描)、安井曾太郎(油彩画)、棟方志功(水彩画)等、約150点を所蔵している。

竹原の文化を企画展で紹介するとともに、特別展も開催している。

館内は、1階文化創造ホール(多目的ホール)、2階アートギャラリー・池田コレクションで構成し、「竹の街たけはら」にふさわしく中庭に竹の庭園を設け、くつろぎの場を醸しだしている。

6 収蔵品数

(平成29年4月現在)

| 区 分 | 池田コレクション | その他の収蔵品 | 合 計 |
|-------|----------|---------|-----|
| 日本画 | 46 | 16 | 62 |
| 油彩画 | 6 | 38 | 44 |
| 水 彩 画 | 1 | 0 | 1 |
| パステル | 1 | 0 | 1 |
| 素描 | 1 | 17 | 18 |
| 書 | 22 | 52 | 74 |
| 彫 塑 | 6 | 13 | 19 |
| 工 芸 | 18 | 23 | 41 |
| 版画 | 0 | 12 | 12 |
| その他 | 47 | 65 | 112 |
| 合 計 | 148 | 236 | 384 |

7 美術館利用状況

アートギャラリー・池田コレクション

| | 区 | 分 | 平成28年度 | 平成27年度 | 平成26年度 |
|------|-----------|--------------------|---------|---------|---------|
| 年間開食 | 官日数 | | 281 日 | 270 日 | 259 日 |
| 展覧会作 | 牛数 | | 5 件 | 6 件 | 5件 |
| 総入場都 | 皆数 | | 4,767 人 | 5,746 人 | 2,876 人 |
| 展覧会立 | 平均入場 | 場者数 | 1,052人 | 958 人 | 575 人 |
| | 1 日日 | ^Z 均入場者数 | 17 人 | 21.3 人 | 11.1人 |
| 展 | | 件数 | 3件 | 4件 | 4件 |
| 覧 | 常 | 開館日数 | 244 日 | 204 日 | 254 日 |
| | 設 | 入場者数 | 2,168 人 | 2,434 人 | 2,485 人 |
| 会 | 展 | 1日平均入場者数 | 8.9人 | 11.9人 | 9.8人 |
| 入 | /12 | 土日祝日平均入場者数 | 10.8人 | 16.4人 | 13.3 人 |
| | 企 | 件数 | 2件 | 2件 | 1件 |
| 場 | | 開館日数 | 37 日 | 66 日 | 5 日 |
| 者 | 画 | 入場者数 | 2,599 人 | 3,312 人 | 391 人 |
| | 展 | 1日平均入場者数 | 70.2人 | 50.2人 | 78.2 人 |

文化創造ホール

| 2010/01/02 | | | |
|-------------------|---------|---------|----------|
| 区 分 | 平成28年度 | 平成27年度 | 平成26年度 |
| 利 用 日 数 | 137 日 | 130 日 | 126 日 |
| 展示会 | 76 日 | 48 日 | 43 日 |
| 文化講演・講座 | 0 日 | 9 日 | 7 日 |
| 演奏会等 | 0 日 | 2 日 | 1 日 |
| 参加型イベント | 5 日 | 4 日 | 2 日 |
| 講習会等 | 31 日 | 32 日 | 26 日 |
| 展覧会等準備日数 | 25 日 | 35 日 | 27 日 |
| 利用件数 | 44 件 | 55 件 | 47 件 |
| 年間入場者数 | 8,060 人 | 9,466 人 | 11,247 人 |
| 1日平均入場者数 | 58.8 人 | 72.8 人 | 89.3 人 |

たけはら美術館

平成28年度 年間利用者数

12,827人 (前年度比2,385人減)

XI 平成29年度竹原市教育委員会の主要な事業

教育振興課

| 施策・事業名 | 内容 |
|-----------|------------------------------------|
| | 【主要目標】 |
| 小·中学校施設改修 | 建築後30年以上経過した学校が多く,施設の老朽化が進んだ学校施設 |
| 事業 | の計画的な改修を図る。 |
| | 【事業内容】 |
| 19,870千円 | 児童生徒の安全な教育環境を確保するため, プール濾過機修繕工事, 水 |
| | 道量水器取替及び屋内運動場屋根防水改修工事(中通小)を行う。 |
| | 【主要目標】 |
| 小中一貫教育推進事 | 夢をもち子どもが輝く教育の実現に向けた質の高い教育活動を行う。 |
| 業 | 【事業内容】 |
| | 吉名中学校区において,一体型小中一貫教育を推進するため,準備委員 |
| 4,653千円 | 会において、校歌、通学路等を協議し、決定する。また、吉名小学校及び |
| | 吉名中学校の閉校式並びに吉名学園の開校式を行う。 |
| | 【主要目標】 |
| 小中一貫校施設整備 | 夢をもち子どもが輝く教育の実現に向けた質の高い教育活動を行う。 |
| 事業 | 【事業内容】 |
| | 吉名中学校区において、平成30年度の一体型小中一貫校開校を目指 |
| 373,983千円 | し、前年度に引き続き整備を行う(校舎増築、校舎大規模改造、屋内運動 |
| | 場・プール改修、小学校遊具設置、外構工事等)。 |
| | 【主要目標】 |
| 学校給食運営事業 | 市内全小・中学校に安全・安心な学校給食を提供するとともに、食育を |
| | 推進する拠点として運営を行う。 |
| 90,440千円 | 【事業内容】 |
| | 平成21年度に学校給食センターを整備し,平成22年9月から民間委 |
| | 託による調理業務を実施している。平成24年度から市内の全小・中学校 |
| | への給食提供を開始し、13校に約2千食を提供している。 |
| | 【主要目標】 |
| 食育推進事業 | 学校、地域及び行政が連携協力し、学校給食を教材として、日本の特徴 |
| | である四季折々の「旬」や、地産地消の利点等を学びながら、食事の準備 |
| 334千円 | ができる子を育成するため、家庭での調理体験や食材選びなどの実践力を |
| | 高める食育推進を図る。 |
| | 【事業内容】 |
| | 地場産物を使用した料理コンテストの実施。優秀作品等レシピ集の作 |
| | 成・配布。 |

【主要目標】

貸付金事業

進学を希望しながら,経済的理由により,高校,大学等への進学が困難な人に対して奨学金を貸与する。

7,580千円

【事業内容】

(修学支度金) 入学時に必要な資金の貸付

高等学校 10万円以内

大学・専門学校 30万円以内

(竹原市奨学金) 在学に必要な資金の貸付

高等学校,高等専門学校 国公立 1万円/月以内

私立 2万円/月以内

学校教育課

| | 【主要目標】 |
|------------|------------------------------------|
| 外国語指導助手配 | 幼児・児童生徒の英語力向上と国際理解の深化及び教職員の英語指導に |
| 置事業 | おける資質向上を図る。 |
| | 【事業内容】 |
| 12,186千円 | ALT(外国語指導助手)を4名雇用し、小学校の外国語活動又は中学 |
| | 校の英語科の授業で教員の補助をする。 |
| | 【主要目標】 |
| 小·中学校教育用 I | ICT機器を活用した思考力・表現力を育てる授業の充実を図る。 |
| CT整備事業 | 【事業内容】 |
| | タブレット型端末整備 (利用場所:パソコン教室,普通教室ほか) |
| 23,593千円 | パソコン台数 |
| | 小学校:244台,中学校:140台 |
| | 電子黒板等ICT機器整備 (利用場所:パソコン教室,普通教室ほか) |
| | 電子黒板台数 |
| | 小学校:49台 中学校:22台 |
| | 【主要目標】 |
| 「英語力向上によ | 児童生徒の英語力を育成することで,グローバル化社会で活躍できる人 |
| る未来の人材育成」 | 材を育成する。 |
| 事業 | 【事業内容】 |
| | ○竹原英語チャレンジ |
| 711千円 | 小学校第5・6年生及び中学校第1学年生徒を対象に,英語力(リスニ |
| | ング、スピーキング)を問うテストを行い、英語によるコミュニケーシ |
| | ョン能力を見取り, 英語への興味関心を高め, 英検へ向けた動機付けと |
| | する。 |
| | ○イングリッシュキャンプ |
| | 市内の小学生5年生から中学3年生(約30名)を集め、1泊2日の日 |
| | 程で、身に付けた英語力を生活の中で活用することを目的とした、イン |
| | グリッシュキャンプ (英語だけの生活) を実施する。英語を身近な言語 |
| | にするとともに, 英語に対する興味関心を持たせ, さらに自身の英語力 |
| | を高めようとする態度を育てる。 |
| | 【主要目標】 |
| 理科補助員配置事 | 小学校の理科授業の充実・活性化を図るとともに, 教員の理科授業に関 |
| 業 | する指導力を向上させる。 |
| | 【事業内容】 |
| 405千円 | 理科が得意な人材を小学校理科授業(5・6年生)に活用し、観察・実 |
| | 験活動等における教員の支援や,効果的な実験等の演示や体験活動などを |
| | 行う。 |
| | |

小学校公開授業研 究会推進事業

【主要目標】

小学校教職員の研修を充実させるとともに,教育公開研究会の開催を推 進する。

【事業内容】

1,509千円

総合的な学習、各教科及び各領域での教育公開研究会を開催する。

【実施校】

- 忠海小学校 (11月 2日)
- 大乗小学校 (10月 6日)
- 竹原小学校 (10月12日)
- 中通小学校 (10月18日)
- 竹原西小学校(9月26日)
- 東野小学校 (9月22日)
- 荘野小学校 (10月 4日)
- 仁賀小学校 (9月28日)
- 吉名小学校 (10月11日)

【主要目標】

中学校公開授業研 究会推進事業

中学校教職員の研修を充実させるとともに,教育公開研究会の開催を推進する。

【事業内容】

449千円

基礎学力の定着を図るため、指導方法等の研究を公開する。

【実施校】

- 忠海中学校 (11月 2日)
- 竹原中学校 (10月13日)
- 賀茂川中学校(10月17日)
- 吉名中学校 (10月11日)

学校緑化推進事業

【主要目標】

【事業内容】

幼・小・中学校において学校緑化を推進し、学校の美化や景観の向上を 促し、心に安らぎと潤いのある教育環境を創造するとともに、幼児・児童 生徒への環境に対する関心を高める。

662千円 生行

幼児・児童生徒を中心に計画的・組織的な校内の緑化活動を進めるとと もに、家庭をまきこんだ取組に広げる。

【実施校】

○ 幼・小・中学校全校

| | 【主要目標】 |
|----------|----------------------------------|
| 幼稚園教育公開研 | 幼稚園教職員の研修を充実させるとともに,教育公開研究会の開催を推 |
| 究会推進事業 | 進する。 |
| | 【事業内容】 |
| | 基本的な生活習慣を身に付けさせ豊かな心を育むため,指導方法等の研 |
| | 究を公開する。 |
| | 【実施園】 |
| | ○ 竹原西幼稚園 (9月27日) |
| | 【主要目標】 |
| 学力検査事業 | 児童生徒の学力を把握するとともに、課題と取組を明らかにする。 |
| | 【事業内容】 |
| 1,350千円 | 標準学力調査を実施し、その結果を分析し、学力向上を図る。 |
| | |
| | 【主要目標】 |
| 体力テスト事業 | 児童生徒の体力を分析し、課題と取組を明らかにする。 |
| | 【事業内容】 |
| 330千円 | 全学年体力テストを実施し、その結果をもとに体力運動能力向上を図 |
| | る。 |
| | 【主要目標】 |
| 総合的な学習の時 | 小・中学校における総合的な学習の時間の授業を充実させる。 |
| 間等の推進事業 | 【事業内容】 |
| | 地域の方や、特技のある方を講師として招聘するとともに生徒の職場 |
| 821千円 | 体験学習等を推進する。 |
| | |
| | 【主要目標】 |
| 教育相談事業 | 学校で対応できない複雑化・多様化するいじめ,不登校等の教育問題に |
| | ついて相談・支援業務を実施し、児童・生徒等の健全育成を図る。 |
| 4,059千円 | 啓発活動を進める。 |
| | 【事業内容】 |
| | 教育相談室において、不登校やいじめ問題等に対する相談活動を行う。 |
| | 業務の一部を民間委託し、休日・夜間も相談業務を行う。 |
| | 【主要目標】 |
| 人材育成事業 | 教職員一人ひとりの能力・適性等に応じた人材育成を図るための研修の |
| | 充実を図る。 |
| | 【事業内容】 |
| | ・校長による人材育成計画の作成と竹原市教育委員会との協議 |
| | ・指導主事による学校訪問指導 |
| | ・竹原市教育委員会主催の研修会の実施 |

| 文化生涯学習課 | |
|----------|--|
| | 【主要目標】 |
| 公民館運営事業 | 生涯学習の基本理念である、生涯「いつでも」「どこでも」「だれでも」を |
| | 推進するため、自由に学習機会を選択して学習することができ、その学習 |
| 16,208千円 | 成果が地域社会において適切に評価されるような社会をめざして諸条件 |
| | を整備する。 |
| | 【事業内容】 |
| | ひとづくり・まちづくりの学習拠点施設として、社会教育・生涯学習 |
| | 推進事業として各種講座を開設する。 |
| | ○ その他各種学級講座 《実施時期》 5月~3月 |
| | ○ 公民館まつり・産業文化祭 《実施時期》 11月~3月 |
| | ○ 公民館役職員研修等 《実施時期》 5月~3月 |
| | ○ 子育て支援事業 《実施時期》 5月~3月 |
| | ○ スポーツ大会・スポーツ教室《実施時期》 5月~3月 |
| | ○ 地域環境活動事業 《実施時期》 6月~3月 |
| | ○ 公民館だより発行 《実施時期》 毎月1回 |
| | 【主要目標】 |
| 成人式事業 | 新成人者を対象とした実行委員会委員を公募により募集し,成人者とな |
| | ったことの自覚を促し、保護者及び関係者(多くの市民)と共に祝福する。 |
| 6 3 0 千円 | 【事業内容】 |
| | ○ 式典(市長メッセージ,来賓祝辞,新成人誓いの言葉) |
| | ○ アトラクション |
| | 【開催時期】 |
| | 平成30年 1月 6日(土) |
| | 【開催場所】 |
| | 竹原市民館ホール |
| | 【主要目標】 |
| 学校体育施設開放 | 学校等の体育施設(屋内運動場・夜間照明・グラウンド)を開放し、生 |
| 事業 | 涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに,一人ひとりが積極的 |
| | にスポーツに親しみ、自己の健康保持、体力増進に関心を高める。 |
| 1,622千円 | 【事業内容】 |
| | 学校体育施設(市内小・中学校12校,旧忠海東小学校,旧忠海西小学校,忠海高等 |
| | 学校、竹原高等学校)に管理指導員を置き、地域住民のスポーツ活動を推進 |
| | する。 |
| | 【主要目標】 |
| スポーツ推進委員 | スポーツの振興のため、地域住民に対しスポーツの実技指導、その他ス |
| 活動事業 | ポーツに関する指導・助言を行う。また、各種研修会・研究大会等にも参 |
| | 加し、相互の情報交流と資質の向上を図る。 |

○ 竹原市スポーツ推進委員総会

○ 尾三地区スポーツ推進委員協議会定期総会及び交流競技大会

429千円

【事業内容】

○ 尾三地区スポーツ推進委員研修大会 ○ 広島県スポーツ推進委員研究大会 ○ 広島県女性スポーツ推進委員研修会 ○ 広島県総合マネジメント研修会 ○ 広島県新任スポーツ推進委員研修会 ○ 各地域のスポーツ振興の指導・助言 【主要目標】 各種体育大会・行事 生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに,住民一人ひとり 運営事業 が積極的にスポーツに親しみ、自己の健康保持・増進、体力づくりに関心 を高めるため、各種教室、大会行事等を実施する。 5,468千円 【事業内容】 ○ 竹原市女性バレーボール大会 ○ 市民ハイキング 〇 竹原市民体育大会 ○ 竹原駅伝競走大会 ○ 芸南学童水泳大会 ○ 竹原ロードレース大会 ○ 竹原市少年野球大会 ○ 竹原市少年サッカー大会 【主要目標】 市内の体育施設を開放し、生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図る 体育施設管理維持 とともに、一人ひとりがスポーツ・レクリエーションに親しみ、自己の 事業 健康保持・増進について関心を深める。 2,683千円 【事業内容】 市民の体育・スポーツの普及・振興及び健康で文化的な行事,スポーツ・ レクリエーション等の用に供するため体育施設を開放し、健康・体力づく りの推進を図る。 ○ 総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド ・体育館アリーナ……バレーボール、バスケットボール、卓球、剣道、 バドミントン, ソフトテニス, フットサル ・多目的グラウンド……ソフトボール,サッカー,野球,ゲートボール, グラウンドゴルフ ・テニスコート ・トレーニングルーム ○ 竹原市営相撲場 ○ スポーツ広場……忠海・小梨・大井・宿根・田万里スポーツ広場

・グラウンド等……ソフトボール,野球,サッカー,テニス・屋内運動場……バレーボール,ソフトバレー,バドミントン,

バスケットボール、ビーチバレー、卓球

○ 学校体育施設

| | 【主要目標】 |
|----------|-------------------------------------|
| プロアスリートス | 竹原市の子どもたちがスポーツを通じて夢や目標をもち, 取組むことに |
| ポーツ教室事業 | より、競技力の向上と底辺拡大を目指す。また、指導者もトップ選手等の |
| | 指導方法を学ぶことができ、指導力の向上・育成にもつながり、競技団体 |
| 242千円 | の組織強化と地域の競技活動の促進を図る。 |
| | 【事業内容】 |
| | NPO法人トップス広島の協力を得ながら, 加盟団体の選手によるスポ |
| | ーツ教室・講習会を開催する。 |
| | (NPO法人トップス広島の加盟団体) |
| | サンフレッチェ広島,広島東洋カープ,JTサンダース,ワクナガレオ |
| | リック,広島メイプルレッズ,広島ガスバドミントン部,NTT西日本ソ |
| | フトテニス部,中国電力陸上競技部,コカ・コーラウエストレッドスパー |
| | クス |
| | 【主要目標】 |
| 文化財保存事業 | 伝統的建造物群保存地区,建造物,史跡,天然記念物,埋蔵文化財,美 |
| | 術工芸品, 伝統的芸能など, 文化的価値を有する文化財の保存と新たな文 |
| 31,661千円 | 化財の発掘に努め、文化財の保存と歴史的景観の向上を図る。 |
| | 【事業内容】 |
| | ○ 伝統的建造物群保存修理事業 ○ 市内指定文化財保存管理事業 |
| | 〇 試掘調査事業 〇 歴史的風致維持向上事業 |
| | ○ その他文化財保存事業 |
| | 【主要目標】 |
| 文化振興事業 | 竹原市総合文化祭を竹原市文化団体連盟及び竹原市芸術文化振興協議 |
| | 会と、共催して開催するなど、市内の文化活動の推進を図る。また、美術 |
| 1,558千円 | 展示会を同様に開催するなどして、芸術振興を図る。 |
| | 【事業内容】 |
| | 〇 竹原市総合文化祭開催 |
| | ○ 竹原市美術展開催 |
| | ○ 市内小中学校図画・書道展 |
| | ○ 美術展示会・コーラス発表会等開催 |
| | 【主要目標】 |
| 人材育成事業 | 生涯学習・社会教育における人材育成を図るため、研修の充実を図る。 |
| | 【事業内容】 |
| | ○「親の力」をまなびあう学習プログラムを活用した研修の実施 |
| | ○公民館職員研修の実施 |
| | ○図書館職員研修への参加,各種行事への参加 |
| | ○文化担当職員の研修への参加 |

図書館

| 施策・事業名 | 内容 |
|----------|------------------------------------|
| | 【主要目標】 |
| 自動車文庫事業 | 市立竹原書院図書館は、公共図書館として、全ての市民に図書を提供す |
| | る環境整備を図るため、距離的、時間的、その他の事情によって直接図書 |
| 1, 151千円 | 館を利用することが困難な市民に、できるだけ図書の提供が均等化するよ |
| | うに努める。その有効な方策として自動車文庫「わかたけ3号」を運行し、 |
| | 図書の提供の拡大と充実に努めている。平成16年度より、市内全保育 |
| | 所・小学校へも巡回し、読書の推進を図っている。その他、市民への読書 |
| | 活動啓発として、市内のイベントに参加し、PR・貸出・返却・本の読み |
| | 語りを実施する。 |
| | 【事業内容】 |
| | ○ 39ステーションを8コースに分け、毎月1回巡回。 |
| | ○ 自動車文庫に約2,500冊(成人,児童向けを各50%)を積載 |
| | して貸出・返却を行う。 |

美術館

| 施策・事業名 | 内容 |
|---------|------------------------------------|
| | 【主要目標】 |
| 常設展開催経費 | 当館所蔵の作品をテーマ別に紹介する所蔵品展と併せて,池田勇人元首 |
| | 相の写真展示を開催していく。 |
| 2,892千円 | 【事業内容】 |
| | 〇 所蔵品展 |
| | 会期: 4月 7日(金)~ 7月 9日(日) |
| | ○ 所蔵品展 |
| | 会期: 8月11日(金)~ 10月15日(日) |
| | ○ 所蔵品展 |
| | 会期:10月20日(金)~ 1月21日(日) |
| | ○ 所蔵品展 |
| | 会期: 1月26日(金)~ 4月 8日(日) |
| | 【主要目標】 |
| 芸術体験事業 | 作品の製作過程を体験することで、芸術に対して関心を深める。 |
| | 【事業内容】 |
| 189千円 | ○ 絵付けをしよう |
| | 【主要目標】 |
| 県美展開催経費 | 広く市民から美術作品を公募し、優れた作品を展示することにより、創 |
| | 作活動を奨励するとともに,鑑賞の機会を提供し,芸術文化の向上を図る。 |
| 325千円 | 【事業内容】 |
| | 開催日 7月26日(水)~7月30日(日) |

社会福祉課子ども福祉係(市長部局補助執行)

| 施策・事業名 | 内容 | | | | |
|----------|-----------------------------------|--|--|--|--|
| | 【主要目標】 | | | | |
| 竹原市青少年指導 | 学校外における青少年の問題行動が行われ易い場所を巡回し、状況を把 | | | | |
| 員設置事業 | 握するとともに、指導を行い、学校・警察等との連携を図り、青少年の健 | | | | |
| | 全育成を図る。 | | | | |
| 135千円 | 【事業内容】 | | | | |
| | 〇 市内巡回指導 | | | | |
| | ○ 学校・警察等との情報交換をし、青少年の健全育成を図る。 | | | | |
| | 《実施時期》 7月~3月 | | | | |
| | 【主要目標】 | | | | |
| 子ども会育成事業 | 子ども会育成団体及び関係機関の自主運営の促進を図り、子ども会組 | | | | |
| | 織の自立並びに、子ども会活動の円滑な運営を推進し、青少年の健全育成 | | | | |
| 205千円 | を図る。 | | | | |
| | 【事業内容】 | | | | |
| | ○ 竹原市子ども会育成連合会理事会 《実施時期》 5・12月 | | | | |
| | ○ 竹原市子ども会育成連合会総会 《実施時期》 6月 | | | | |
| | ○ 竹原市子ども会育成連合会創作大会 《実施時期》 1月予定 | | | | |